

第八回 貴族院議事速記録第三十八號

明治二十八年三月十八日(月曜日)

午前十時四十九分開議

議事日程 第三十八號 明治二十八年三月十八日

午前十時開議

第一 陸海軍刑法ノ適用ニ關スル法律案

(議院送付)

第一讀會ノ續(特別委員報告)

第二 議院法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會

第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第四 震災地方租稅特別處分法案(衆議院提出)

第一讀會

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第六 裁判所管轄區域變更法律案(衆議院提出)

第一讀會ノ續(特別委員報告)

第七 明治二十三年法律第四十六號水利組合條例中改正追加法律案(衆議院提出)

第八 府縣稅徵收法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會ノ續(特別委員報告)

第九 堺表殉難舊土佐藩士ヲ靖國神社ニ合祭ノ請願

第十 復族及復祿ノ請願

第一讀會ノ續

第十一 裁判所管轄變更ノ請願

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

海軍ノ刑法ニ於キマシテハ御承知ノ通り各々單獨ノ勸ヲ爲シテ陸軍ハ陸軍ノ軍人ノ裁判ヲシ、海軍ハ海軍ノ軍人ノ裁判ヲスルト云フモノニナツテ居ル、夫レデ是レマデハ戰爭モアリマシタケレドモ格別此海軍ト陸軍ト聯合シ、海軍士官ト陸軍士官トガ混合シテ勤務ニ服スルト云フ様ナコトハ先ヅナカク言フテ宜シ、サウ云フモノデアリマシタカラシテ自然ト此法律ノ缺典ヲ見出スコトニナラザツタ、デ此度ノ様ナ非常ナ大ナル戰爭ニナリマシテカラ始メテ此缺典ヲ見付シテ夫レヨリシテ此法律ノ必要ヲ感シタモノト云フコトデアリマス、デ是レハ此說明ニ大抵出テ居リマス、通リ固ヨリ此海軍ノ軍人、陸軍ノ軍人ト云フモノハ、海軍ノ軍人ハ陸軍ノ軍人ニ對シテ、陸軍ノ軍人ハ海軍ノ軍人ニ對シテ互ニ夫々ノ上官ニ對シテ敬禮ヲ表セヌナラヌト云フコトハ教育上ハ明ニナツテ居ルデアリマス、教育上ニ於テハ夫々其互ノ上官ニ對シテ相當ノ敬禮ヲセヌナラヌト云フコトニナツテ居ルケレドモ、併ナガラ法律上ニ於テハ少シモサウナツテ居ラヌ、デ法律上カラ言ヘバ海軍ノ軍人ガ陸軍ノ軍人ノ己レノ位地ヨリ上官ノ者ニ對シテ夫レダケノ敬禮ヲセネバ罰セラレト云フ様ナコトハナイ、海軍ハ陸軍ニ對シテ陸軍ハ海軍ニ對シテ一向無關係ノモノニナツテ居ル、ソコデ此軍人ニ最モ必要貴重トスル所ノ上官ニ對シテ命令ニ從ハネバナラヌト云フ事柄ガ教育上ノ教ハ出來テ居ルケレドモ法律上ノ明文ガナイカラシテ、今言フ通り法律ノ上デハ唯ノ人ニ對スル様ニナツテ罰スルコトガ出來ナイ、譬ヘテ申セバ海軍ノ兵卒ガ陸軍ノ士官ニ對シテ命令ニ抗シ無禮ヲシタ所ガ夫レヲ罰スルコト云フコトガ出來ナイト云フ様ナコトニナル、夫レカラシテ又或ハ此徒黨退官ト云フ様ナ理窟デ三人以上徒黨シテ退官スルト云フコトニナツタラバ其律ガ非常ニ重イ、併ナガラ是レガ海軍ノ者ガ二人、陸軍ノ者ガ二人デ聯合シテ退官ヲシタ所ガ之ヲ以テカラニ徒黨退官ト云フコトヲ以テ罰スルコトハ出來ナイ、互ニ二人ニナルト云フ斯ウ云フ理窟デ、夫レデ甚ダ不都合ナ譯ニナルカラシテ、夫レデ此法律面ノ第一條ニ在リマス、所ノ同視スルト云フコトデ海軍ハ海軍、陸軍ハ陸軍ト特立シテ居ル者ヲ海軍ノ軍人モ陸軍ノ軍人モ總テ軍人タル資格ノ上ニ於テハ同シモデアルト云フコトヲ此法律デ極メルノデ、罰ヲ犯シタトキニ陸軍ノ軍人デアレ、海軍ノ軍人デアレ、モウ少シモ區別ハナイ、同シ様ニ處斷スルト云フダケノコトデ、外ニ一向深イ理由ハナイ、是レマデ特立シテ居タモノガ云ハバ一ツニナツタト云フ理窟デアリマス、夫レダケノ理由デゴザイマシテ、モウ至極必要ナルコトト考ヘマス、ルデ委員會ニ於キマシテハ何ノ異議モナク然ルベクト決シマシテゴザイマス、ドウゾ諸君ニモ其思召デ速ニ可決ニナルコトヲ希望致シマス、

○算作麟祥君 決算委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ退席ヲ御許ヲ願ヒタ

(子爵谷干城君演壇ニ登ル)

○子爵谷干城君 本案ハ此通り誠ニ單簡ナル法律デアリマス、昨日委員會ヲ開キマシテ忽チ結了シマシテゴザイマス、デ委細ノ事ハ此モウ理由書ニ明ニナツテ居リマス、別ニ委員長ノ說明ヲ要スル程ノコトモナイト考ヘマス、唯單簡ニ一應委員會ノ結果ヲ御報告ヲ致シマス、デ此陸軍

イ、尤モ此席ニ居ラレルノハ本員ヲ合シテ三名バカリデゴザイマスカラ左程御差支ニモナリマスマイト思ヒマスカラ御許ヲ願ヒマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 然ラバ定足數ニ差支ゴザイマセヌ、別段ニ御異議ナイト存ジマスカラ宜シウゴザイマス、

○男爵小澤武雄君 政府委員ニチヨツト御尋フシマスカ、今特別委員長カラノ報告ニ依ルト陸海軍共ニ上官ニ對スル所ノ服從法ガ之ヲ以テマア定マルト云フコトデ、夫レハ能ク了解シマシタガ、平日ノ相互ノ敬禮ノ事ハ陸軍ヂヤ敬禮式デ極メテアルノデガ、アレニモ即チ矢張り海軍ハ陸軍ノ軍人ニ對シテ等級ノ上ノ者ニハ先キニ禮ヲシナケレバナラヌト云フコトガ這入ルノデアルカ又ハ刑法ダケニ載セテ置クノデアリマスカ、アノ邊ハ是レマデノ通りニ置クノデアリマスカ、

○政府委員(竹内正策君) 是レカラ御答ヲ致シマス、刑法ダケノ事デ敬禮式ノ事ハ從來ノ通りデゴザイマス、

○子爵曾我祐準君 特別委員デモ政府委員デモ宜シウゴザイマスカ伺ヒタウゴザイマス、陸軍軍人ガ海軍軍人ノ勤務ニ服シ海軍軍人ガ陸軍軍人ノ勤務ニ服スルト云フノガ初リデアリマスカ、幾ラモアル事デアリマスカ、ドンナコトデゴザイマセウカ、勿論事柄ガアルカラ法律ガ出來ル譯ニ違ヒナイガ一二例御示ガ出來レバ大ニ仕合デゴザイマス、

(政府委員竹内正策君演壇ニ登ル)

○政府委員(竹内正策君) 御答ヲ致シマス、陸軍軍人ガ海軍ノ勤務ニ服スルトキト云フノ例ノ著シキモノハ海軍軍令部條例ノ第七條デゴザイマス、夫レハ……

(子爵曾我祐準君「夫レ位デ宜シウゴザイマス」ト述ブ)

左様デゴザイマスカ、第七條ニ依リマスカ陸軍ノ將校ガ海軍軍令部ノ局員トナリマスカ、夫レカラ又海軍大學校條例ノ四條ニ依リマスカ陸軍ノ將校ガ大學校ノ教官トナリマス、是レ等ガ陸軍軍人ガ海軍ノ勤務ニ服スルトキノ例デゴザイマス、夫レカラ海軍軍人ガ陸軍ノ勤務ニ服シマスカノハ參謀本部條例ニ依リマシテ海軍ノ將校ガ第一局第二局ノ局員ニナリマス、唯今マデハ先ヅ其一例アルノミデゴザイマス、

○子爵曾我祐準君 將校以上ノ事ハ分リマシタガ兵士或ハ下士……兵卒ニモサウ云フ例ガアリマスカ、夫レヲ心得ノタメ伺ヒマス、

○政府委員(竹内正策君) 下士兵卒ニハ別ニゴザイマセヌ様デゴザイマス、是レマデノ所デハ……

○子爵曾我祐準君 要塞杯ニハゴザイマセヌガ、先達テ出マシタ防務條例杯ニハ……

○政府委員(竹内正策君) サウ云フノハゴザイマス、海軍軍人ガ陸軍ノ勤務ニ服シ陸軍軍人ガ海軍ノ勤務ニ服スルヨリ陸海軍軍人共ニ陸海軍ノ勤務ニ服スル様ニ別ニ充テデアリマス、是レハ防務條例ニ最モ多ウゴザイマス、夫レハ陸海軍ノ者ガ纏ッテ一司令官ノ下ニ附キマスノデゴザイマス、

○男爵小松行正君 本案ハ無論簡單ナ案デゴザイマスカラ讀會省略ヲ願ヒマス、

○政府委員(竹内正策君) 唯今御答ヲ致シマシタ中ニ海軍ノ事デ承知致シマセヌコトガゴザイマシテ、海軍ノ政府委員カラ承リマシタカラ補足ヲ致シマス、陸軍ノ運送船ニ海軍ノ信號手ガ乘リマスカラゴザイマス、夫レハ下士以下ガ陸軍ノ勤務ニ服スルコトニ當リマス、唯今承リマシタカラ……

○子爵谷干城君 小松男爵ノ讀會省略ニ贊成致シマス、

○名村泰藏君 小松男爵ニ贊成、

○南鄉茂光君 贊成、

○子爵山口弘達君 小松男爵ノ讀會省略ニ贊成、

○子爵立花種恭君 贊成、

○柴原和君 贊成ヲ致シマス、

○伯爵大原重朝君 贊成、

○小原重哉君 贊成、

○子爵堀田正養君 贊成ヲ致シマス、

○子爵秋田映季君 贊成、

○子爵林友幸君 贊成シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 小松男爵ヨリ讀會省略ノ要求ハ定規ノ贊成ガゴザイマシタ、讀會省略ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 三分ノ二以上ト認メマス、依ッテ讀會省略ニナリマシタ、

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

第一條 陸軍軍人海軍ノ勤務ニ服シ海軍軍人陸軍ノ勤務ニ服シ又ハ陸海軍軍人共ニ陸海軍ノ勤務ニ服スルトキ陸軍刑法ニ於テハ海軍軍人ヲ陸軍軍人ト同視シ海軍刑法ニ於テハ陸軍軍人ヲ海軍軍人ト同視ス

第二條 前條ニ記載スル陸海軍軍人ノ所爲ニ對シ陸軍刑法海軍刑法俱ニ罰スヘキ正條アルトキハ陸軍軍人ハ陸軍刑法ニ依リ海軍軍人ハ海軍刑法ニ依テ處斷ス

第三條 此ノ法律ニ軍人ト稱スルハ陸軍刑法海軍刑法ニ於ケル軍人及之ト

同視スル者ヲ謂フ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

過半数デゴザイマス、本案ハ可決セラレマシタ、次ニ議院法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ヲ開キマス、提出文ノミヲ朗讀致サセマス、

(山本書記官朗讀)

議院法中改正法律案

右憲法第三十八條ニ依リ貴院ニ提出候也

明治二十八年三月十四日

衆議院議長 楠 本 正 隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

明治二十二年法律第二號議院法中左ノ通改正追加ス

第一條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ臨時會ハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 各議院ハ其ノ決議又ハ政府ノ要求ニ依リ議會閉會ノ間委員ヲ

設ケ議案又ハ必要ノ事項ヲ審查セシムルコトヲ得

第二十六條中第二項ノ但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ他ノ議事緊急ヲ要スルトキハ議院ノ議決ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ

得此ノ場合ニ於テハ政府ニ通牒スヘシ

第二十八條 法律ノ議案ハ委員ノ審查ヲ經シテ議決スルコトヲ得ス

但シ政府ノ要求又ハ議院ノ議決ニ依ルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三十三條中第一項ヲ左ノ如ク改ム

議院ニ停會ヲ命スルトキハ十五日以内トス

第四十條 政府ヨリ豫算案ヲ衆議院ニ提出シタルトキハ豫算委員ハ其ノ

案ヲ受取リタル日ヨリ二十日以内ニ審查ヲ終リ議院ニ報告スヘシ

第四十一條ヲ削リ第四十二條ヲ第四十一條ニ改メ以下順次之ニ倣フ

第四十八條中三十八トアルヲ二十八ト改ム

第四十九條ニ左ノ一項ヲ加フ

國務大臣ノ答辯其ノ要領ヲ得サルトキハ議員ハ二十名以上ノ贊成者ト共

ニ其ノ出席ヲ要求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ國務大臣ハ時日ヲ期シ議

院ニ出席シテ答辯ヲ爲スヘシ

第七十三條中「得」ノ下「ス」ノ一字ヲ削ル

第七十八條中「特ニ」ノ二字ヲ削リ「設ケ」ノ二字ヲ「シテ」ノ二字ニ改ム

第八十七條中「會議中」ノ下「議員」ノ二字ヲ削ル

第九十三條中「處分ヲ求ムヘシ」ノ下「私ニ」以下十二字ヲ削ル

○水之江浩君 政府委員ニテヨット質問致シマス、本案ハ衆議院ニ於テ……

政府ハ御不同意デアリマスカ夫レヲ伺ヒタイ、其理由ヲ詳細ニ政府委員ニ伺ヒタイ、

○政府委員(松岡康毅君) モウ一應願ヒマス

○水之江浩君 本案ハ衆議院ニ於テ政府委員ハ御不同意ト云フコトヲ承リ

マシタ、果シテ左様デゴザイマスカ、夫レナラ其理由ヲ御説明ヲ願ヒタイ、

(政府委員松岡康毅君演壇ニ登ル)

○政府委員(松岡康毅君) 議院法中ノ改正案ニ附キマシテハ大體政府ハ不

同意デゴザイマス、不同意ノ要用ナ點ハ衆議院ニ於テモ述ベマシテゴザイマ

スガ尙ホ唯今水之江君ヨリ御質問デゴザイマスカラ大略申述ベマスデゴザイ

マス、一々細カク申上デマスルト時間モ費エマスカラ重ナ分ダケヲ申上デマシ

テ他ハ又若シ御尋デゴザイマシタラ御答ヲ致シマス、其主ナルモノヲ舉ゲマ

スルト第二十五條ニ「各議院ハ其ノ決議又ハ政府ノ要求ニ依リ議會閉會ノ間

委員ヲ設ケ議案又ハ必要ノ事項ヲ審查セシムルコトヲ得」トゴザイマス、此

條ハ固ヨリ不同意デゴザイマス、ト申シマスルモノハ議會ト申シマスモノハ

固ヨリ集合體デ働クモノデゴザイマシテ、又委員ト申シマスモノモ其集合ノ

一部分デ決シテ一人一己デ働ケルモノデハゴザイマセヌ、然ルニ此議院ト申

シマスモノハ憲法ニゴザイマス通りニ召集セラレ、夫レカラ開會ヲセラレ、

サウシテ働ガ始メテ起ルノデゴザイマス、議會自ラガ集會スルコトモ出來ナ

イ、又開會スルコトモ出來ナイ、召集、開會、閉會、停會及衆議院ノ解散ハ全ク

憲法上 陛下ノ大權ニ屬シテ居ルモノデアアルニ依ッテ議院ガ働クスルノハ必

ズ召集ト開會トノモノヲ以チマシテ始メテ爲シ得ラレルノデアリマス、夫レ

故ニ閉會ヲスルトナレバモウ夫レデ議會ノ働ト云フモノハ、スッパリ止マッテ

仕舞ヒマシテ仕掛ケタ仕事ヲ後ニ繼續スルコトハ出來ズ、夫レギリ行止マリ

ニナル筈デゴザイマス、夫レ故ニ此現行ノ二十五條ニ於テ閉會ノ間繼續委員

ヲ設ケテ議案ノ審查ヲスルコトガ出來ルト申スノモ政府ノ同意ヲ經ルコトガ

第一ノ要件デアリマス、其政府ノ同意ヲ經タラバ閉會ノ間ニ夫レダケノ働

ヲ爲シ得ルト云フ精神ガ始メテ這入ルノデアリマス、然ルニ此改正案ハ議院

自ラノ決議ヲ以テ閉會ノ間繼續委員ヲ設ケルコトガ出來ルノデ、斯ウナレバ

恰モ召集モ閉會モ頓著シナイト云フ結果ト同ジ様ニナリマス、此點ニ於キマ

シテハ憲法ノ主旨ニ違フ、依ッテ改正ニハ同意ヲスルコトガ出來ナイ、暫ク憲

法ノ論ヲ取除ケニ致シマシテ事實上ノミカラ之ヲ觀察致シマシテモ甚ダ宜シ

クナイ、ト申スノハ現行ノ法ニ於キマシテハ政府ノ同意ヲ得テ議案ト云フモ
ノヲ審查スルタメニ繼續委員ヲ設ケルコトヲ得ルトナツテ居リマス、然ルニ改
正案ハ議案ノ外ニ必要ナル事項ヲ審查スルタメニ委員ヲ設ケルコトヲ得ルコ
トニナツテ居リマス、未ダ議案トモナラナイモノデ必要ナル事項ト云フ様ナ模
然ナ名稱ヲ以テ夫レニ繼續委員ヲ設ケルコトヲ得ルトナリマス、如何ナル
モノデモ繼續委員ニ掛ケラレルコトニナリマス、例ヘテ申シマスレバ財政ノ
調査ヲセヌケレバナラヌ、或ハ陸海軍ノ軍費ヲ調査スルタメ繼續委員ヲ設ケ
ナケレバナラヌ、或ハ地方制度ヲ調査スルタメ繼續委員ヲ設ケナケレバナラ
ヌト百般行政ノ事務デモ立法ノ事務デモ何デモ必要ナル事項ト云フ名稱ノ下
ニ括ラレルコトニナリマスカラ、議院ガ繼續委員ヲ自ラ作ルト云フコトニナ
リマスルト惡ルク言ヒマスレバ際限モ無ク幾ツモ繼續委員ヲ一年中立テ通シ
ニ置カレルト云フ様ナ弊害モ生ジナイトハ云ハレナイ、固ヨリ衆議院デモ申
シマシタガ唯今出テ居ル衆議院ノ議員諸君等ニ於テハマサカサウ云フコトハ
スマイケレドモ、法律ヲ立テル上ハ後々ノ事モ視テ置カナケレバナラヌ、若シ
ヤ追々議員ノ代ル末ニハ今ノ様ナ、是レモ必要、是レモ必要ト云フ様ナコトデ
繼續委員ヲドシドシ拵ヘルト云フ様ナコトガナイトハ言ハレヌ、立法ノ際ニ
於テハ大ニ注意ヲシナケリヤナラヌコトデアルト、斯ウ云フ廉ヲ以チマシテ一
ハ憲法上カラ見テモ甚ダ穩ナラヌ、又一ハ事實上ヨリ觀察ヲシテモ弊害ニ堪
ヘナイト云フ恐ガアル、此點ヲ以チマシテ政府ハ此二十五條ノ改正案ト申ス
ノハ不同意ヲ表シタノデゴザイマス、尙ホ二十八條ニ於キマシテモ政府カラ
提出シタ議案ハ委員ノ審查ヲ經ズシテ議決スルコトヲ得ズ但シ政府ノ要求ノ
アツタトキニハ此限ニアラズト申スノガ現行ノ趣意デゴザイマス、然レドモ
此改正案ハ政府カラ出シタノモ議員カラ出シタノモ總テ法律ノ議案ト云フ
モノハ、委員ニ掛ケルコトヲ先ヅ原則トシテ置キマシテ「但シ政府ノ要求又ハ
議院ノ議決ニ依ルモノハ此限ニアラス」トシテゴザイマスルガ是レハ不同意
デゴザイマス、元來法律ヲ拵ヘマスルトキニハ成ルベク間ニハ時間モ置イテ
熟考ノ期ヲ與ヘ、サウシテ委員ニ審查ヲサセテ鄭重ニシテ行カナケレバナラ
ヌ、唯何カ緊急ヲ要スルトキニハ、政府ガ要求シタトキニハ一ノ變例ヲ設ケ
ラレルトゴザイマスレドモ此變例ハ成ルベク狭イコトニシテ置ク趣意デゴ
ザイマス、ドウモ議論ト申スノモ一時ノ情勢ニ激セラレマス、隨分名論卓説
モ其時ニハ立タズシテ多數ノ勢デ、法理ノ精密曲折ナル所ナゾニハ十分攷究
シ到ラズシテ輕々議決スルト云フ様ナコトハ是レハ免レ難イモノデゴザイマ
スルカラ、夫レ故成ルベク變例ハ少クセヌケレバナラヌ趣意デゴザイマス、
然ルニ此議院ノ決議デ、委員ニモ付託セズシテ法律ヲ議定スルト云フコトニ
ナリマスルト或ハ議案ヲ提出スル即時即日讀會モ何モ省イテ直ニヤツテ仕舞

フ片付ケテ仕舞フト云フ様ナコトハ隨分危險ナコトデアリマスルカラ、夫レ
故「政府ノ要求」ト申ス下ヘ「議院ノ議決」ト云フモノヲ加ヘテ議院限リデ委員
ニモ付託セズ至ツテ迅速ニシテ行カウト云フ事柄ハ政府ハ之ニ不同意ヲ唱ヘ
マスル、夫レカラ四十條ニ於キマシテ「政府ヨリ豫算案ヲ衆議院ニ提出シタ
ルトキハ豫算委員ハ其案ヲ請取リタル日ヨリ二十日以内ニ審查ヲ終リ議院ニ
報告スヘシ」トゴザイマスルガ、是レハ現行ノ豫算案ハ「其ノ院ニ於テ請取
リタル」ト申スノヲ豫算委員ガ請取ツタノニ變ヘマスノデ、十五日ヲ二十日ニ
變ヘマスノデゴザイマスレドモ是レハ矢張り政府ハ不同意ヲ表シマスル、
如何トナレバ元來委員ト申スノハ議院中ノ内閣ノモノニナリマシテ此豫算ハ
議院ガ受取ツテヨリ數ヘルト云フノハ是レハ當リ前ノコトデゴザイマシテ、
委員ガ議院ノ中ヨリ受取ルト云フノハ内閣ヲノコトニナリマスルガ、夫レハ
免モ角モ委員ガ受取ツテサウシテ二十日ト云フ様ナコトニナリマスルト議院
ノ都合ニ依ツテ委員ニ渡スコトガ幾日立ツカモ圖ラレヌ、其上議スルニ日ヲ延
ベテ二十日ト斯ウナリマス、唯今ノ法律デアリナガラモ衆議院ノ方デ免角豫
算ト云フモノハ長引キマスカラ貴族院ガ豫算案ニ對シテ十分調ヲスルト云フ
期間ノアツタコトハ數度ノ中デ甚ダ少ナイ、當年ガ始メテト申ス位、唯今マデ
デスラサウ云フコトニナツテ居リマスルノヲ尙ホ改正シテ斯ウ云フコトニナ
リマスルト豫算ト云フモノハ衆議院ノ持切り見タ様ニナリマシテ貴族院ハ
愈々之ヲ議スルト云フ時間ヲ少クセラレルト云フコトハ免レナイ、夫レ故ニ
第一是レハハ不同意デゴザイマス、且又追々當年ノ如ク衆議院ノ方デモ慣レ
テ參リマスレバ政府ノ方カラモ豫算ヲ編制スルノニモ一定ノ先例ガアル様ニ
ナリマスルト從來ヨリハ衆議院デ豫算ヲ調ベマスルニモ經常費用杯ハ大ニ手
ガ省カレル、サウシテ見レバ殊更ニ豫算案ノ審查ノ日數ヲ殖サヌナラヌト云
フ必要モアリマス、旁々是レモ改正スルコトハ不同意ト申ス譯デアリマ
ス、夫レカラ四十九條ニ至リマシテ「國務大臣ノ答辯其要領ヲ得サルトキハ
議員ハ二十名以上ノ贊成者ト共ニ其ノ出席ヲ要求スルコトヲ得」ト斯ウゴザ
イマス、是レモ不同意デゴザイマス、ト云フノハ國務大臣ハ申スマデモナイ
重要ナ國務ヲ持ツテ居リマスルノデゴザイマスルカラ、議員ノ求ガアルカラト
申シテサウ求メル度ニ出ルト云フコトハ出來マセヌ、又サウ申シテ見マスル
ト改正スル側ノ人カラハ、サウ朝モ晩モ要求スルコトハシナイト言フカモ知
レマセヌガ、ケレドモ朝モ晩モ要求セラレテモ法律ガ定メタ以上ハ致方ガナ
イ、勿論國務大臣ハ議場ヘ出テ答辯スル權ハ持ツテ居リマスルカラ、イツデモ
出モ致シマスルシ又書面デ答辯スルコトモ無論現行ノ法ノ通りアルノデゴザ
イマス、ドウチラデモ出來マスルガ必ズ要求ヲセラレルコトニ極メテ置キマス
ルト甚ダ國務ニ差支ヲ生ズルト云フコトモゴザイマスルカラ是レモ不同意デ

ゴザイマス、尙ホ其外ニ小サイ所ニ不同意モゴザイマスルケレドモ夫レハ何レ委員會モ御開ニナリマセウシ唯今一々申述ベル程ノコトモゴザイマスマイガ、大略本案ニ對シテ不同意ト申ス要點ハ唯今述ベマス様ナ次第デアリマス、
○男爵伊達宗敦君 外ノ事ハ感服ハチツトモシナイガ御説明ノコトダケハ荒増シ分リマシタガ四十九條ニ附イテ國務大臣ガ議員カラ要求ヲセラル、毎ニ出ルコトニナツテハ國務ヲ執ル上ニ差支ガ多イ、夫レ德斯ウ云フコトニナツテハ困ルノデアルト斯ウ云フ様ニ述ベラレタ様ニアリマシタガ、國務ヲ執ル妨ニナルタメニ斯様ナ事ハ法律ニ設ケテ置イテハ差支ヘルト是レダケノ御考デアリマスカ、

○政府委員(松岡康毅君) サウデス、

○男爵伊達宗敦君 夫レダケデスカ、

○政府委員(松岡康毅君) サウデス、

○水之江浩君 第一條ニ於テハ唯今政府ノ御異存ハアリマセヌカ、
○政府委員(松岡康毅君) 御答シマスガ此第一條ノ追加ハ不必要ト思ヒマス、此改正ハシナクツテモ差支ノナイモノト思ヒマス、

○水之江浩君 是レハ全ク衆議院デハ但書ヲ加ヘマシタ其但書ハ臨時會ノ場合ヲ規定致スノデゴザイマスガ現行法デハ臨時會ハ矢張り四十日前ニ召集シナケレバナラヌ様ニ思ハレマスガ憲法ニモアリマス様ニ臨時會ハ臨時緊急ノ場合ニ召集スルモノデアリマスガ其邊ハ差支アリマセヌカ、又ハ臨時會ハ四十日以前デナクテモ宜シイト云フ御考デアリマスカ、

○政府委員(松岡康毅君) アトデ仰ツシヤル通りデアリマス、臨時會ハ四十日ヲ必要トシナイ、憲法ノ四十一條ノ方ハ第一條ノ本文ニ關係シマスガ臨時會ハ四十三條ノ方デアリマシテ丸々臨時ノコトデアル、夫レ故是レハ無クトモ差支ナイト斯ウ云フ趣意デアリマス、

○水之江浩君 然ラバ四十三條ノ方ハ第一條ニハ一向係リマセヌト云フコトデアリマスカ、

○政府委員(松岡康毅君) サウデゴザイマス、

○水之江浩君 モウ一度チヨット御尋シマスガ三十三條、三十三條ノ……改正案デハゴザイマセヌ私ガ御尋ヲシマスノハ現行法ノ事デアリマス、現行ノ法デハ停會ハ憲法第七條 天皇ノ大權ニ屬スルモノノ様ニアリマスガ、議院法デハ政府ニ權能ヲ與ヘマシタル様ニ解釋ヲ持チマシテゴザイマスガ憲法ノ方ガ紛ハシイカノ様ニ聞エマスガ……

○政府委員(松岡康毅君) 御尋ノ趣意ハ憲法デハ 天皇ハ云々トアルニ議院法デハ政府ハ停會ヲ命ズルコトヲ得ルトアルカラ抵觸ハシナイカト云フ御尋デアリマスカ、

○水之江浩君 御意デゴザイマス、

○政府委員(松岡康毅君) 政府ト申スノハ即チ 天皇陛下ノ政府デゴザイマスカラ少モ抵觸ハ致シマセヌ、

○男爵伊達宗敦君 モウ一應、此衆議院ノ提出ニナツタ議院法ニ附イテハ其衆議院ノ案ニ附イテ其趣意ノアル所ヲ述ベルコトガ出來ナイノデ、先頃モ渡君カラ御尋ノ時ニ困ツタコトデアリマスガ、唯今御述ニナル様ニナルト大分政府委員ハ此事ニ附イテ詳シク衆議院デモ御尋ニナツタカト思ヒマスルガ如何デアリマスルカ、此中ニ衆議院カラ提出ニナツタコトニ附イテノ趣意ガ少シ分リ兼ネルコトガアリマスガ、固ヨリ政府提出デナイカラ政府委員ノ資格ヲ以テ政府案ノ通りニ御答ハ出來マスマイガ、若シ衆議院案ニ附イテ御分リニナツテ居ルコトガアレバ御尋シタイモノト思ヒマスルガ御答ニナルコトハ出來マセヌカ、

○政府委員(松岡康毅君) 其御請合ハ出來マセヌ、

○議長(侯爵須賀茂韶君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス、

○子爵堤功長君 委員ハ九名トシ議長ニ於テ選定アラムコトヲ希望致シマス、

○男爵小松行正君 贊成、

○議長(侯爵須賀茂韶君) 委員ノ選定ヲ議長ニ託スルト云フ堤子爵ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、次ニ震災地方租稅特別處分法案、衆議院提出、第一讀會ヲ開キマス、提出文ノミヲ朗讀致サセマス、

(山本書記官朗讀)

震災地方租稅特別處分法案

右憲法第三十八條ニ依リ貴院ニ提出候也

明治二十八年三月十四日

衆議院議長 楠 本 正 隆

貴族院議長 侯爵須賀茂韶殿

(左ノ法案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

第一條 本法ハ山形縣ニ限り明治二十七年十月二十二日ノ震災ニ因リテ生シタル損害ニ適用ス

第二條 水源涸渴水路破滅等ノ爲地目ヲ變換シ地價ヲ修正シタル土地ハ明

治二十七年分ヨリ修正地價ニ依リ徵收ス

第三條 荒地ニ至ラサルモ土地ニ變動ヲ生シタル爲又ハ其ノ餘害ヲ受ケタル爲收利ノ減損甚シキ土地ハ其ノ實況ニ依リ明治二十七年ヨリ十箇年以内七割以下ノ低價年期ヲ附與スルコトヲ得

第四條 過半ノ家屋焼失若ハ壊倒シ營業ノ景狀容易ニ回復シ難キ市街若ハ市街ニ準ス可キ部落ハ其ノ實況ニ依リ明治二十七年ヨリ七箇年以内七割以下ノ低價年期ヲ其ノ地ノ宅地ニ附與スルコトヲ得

第五條 第三條第四條ノ低價年期明ニ至リ原地價ニ復シ難キモノハ其ノ地ノ現況ニ依リ地價ヲ修正スルコトヲ得

第六條 居住家屋ノ焼失又ハ其ノ他ノ損害ヲ受ケタルモノハ被害ノ景況ニ依リ明治二十七年分地租未納金ハ明治二十八年ヨリ三箇年以内延納ヲ許スコトヲ得

但シ延納ニ係ル地租ハ三箇年以内年賦ヲ以テ納ムルコトヲ得

第七條 酒造又ハ醬油營業者ニシテ營業用ノ建物焼失壊倒若ハ大破シタルモノハ其ノ實況ニ依リ震災前検査済ニ係ル未納造石稅ヲ減免スルコトヲ得

第八條 醬油菓子賣藥烟草度量衡ノ營業者ニシテ營業用ノ建物焼失壊倒若ハ大破シタルモノハ其ノ實況ニ依リ左ニ掲グル稅金ニ限リ減免スルコトヲ得

一 菓子製造稅度量衡稅ハ明治二十七年後半分ノ稅金

一 醬油營業稅菓子營業稅賣藥營業稅烟草營業稅ハ明治二十八年前半分ノ稅金

第九條 本法ニ依リ損害取調中ハ其ノ租稅ノ徵收ヲ猶豫ス

第十條 本法ノ施行ニ關シテハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

第十一條 本法ニ依リ處分ヲ受ケムトスル者ハ明治二十八年七月三十一日迄ニ申出ヘシ若此ノ期限内ニ申出サル者ハ本法ノ處分ヲ受クルコトヲ得ス

○子爵曾我祐準君 政府委員ハ出テ居リマスカ……少シ御尋致シタウゴザ

イマスガ美濃、尾張、震災ノ時分ニ是レト殆ド同様ナ様ナ法案ガ政府カラ提出サレタカノ様ニ覺エテ居リマスカ今度ハ政府デ……政府提出デナクテ衆議院提出ニナツテ居リマスカ、美濃尾張ノ時、此時ノ議案ハ政府自ラ提出シタニモ拘ラズ今度提出サレヌデアツタヲ考ヘテ見マスカ必要デナイト政府ハ認メタカノ様ニモ思ハレマスカ如何ナモノデアリマスカ、事柄ハ甚ダ似タ事柄デアルト思ヒマス、美濃、尾張モ今度ノ山形地方モ事柄ハ甚ダ似タ様ニ思ヒマスニ依ツテチヨット疑ガ起リマシタ、

〔政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(目賀田種太郎君) 曾我子爵ニ御答致シマス、山形縣ノ震災ニ附キマシテ是レマデ政府ガ取調ベマシタ事實ニ於キマシテハ局面ガ狄ウゴザイマス、多クハ現法ヲ以テ處分シ得ラレル積リデゴザイマシタカラシテ、更ニ追ッテ現行ノ法律ノ處分ノ出來ナイ事實ノ多キヲ認メタトキニ法律ヲ提出致シマスル了簡デ居リマシタ、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス、

○柴原和君 本案ノ審査ハ議長ニ依託シマシテ九名ニ致シタイ、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 委員ノ選舉ヲ議長ニ託スルノデゴザイマス

○柴原和君 左様デス、

○男爵小松行正君 賛成、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 委員選舉ヲ議長ニ託スルト云フ柴原君ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、次ニ裁判所管轄區域變更法律案、衆議院提出第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告、

(伯爵萬里小路通房君演壇ニ登ル)

○伯爵萬里小路通房君 本案ニ附キマシテ委員會ノ結果ヲ御報道致シマス、一昨十六日委員會ヲ開キマシテ政府委員ノ出席ヲ請ヒ本案ヲ攷究致シマシタ所、即チ松山地方裁判所ヲ廣島控訴院ノ管轄ニ、廣島控訴院管轄内ノ鳥取地方裁判所ヲ大阪控訴院ノ管轄ニ變更スルコトデアリマス、之ニ附キマシテハ少シモ差支ノアル所ヲ見出シマセヌ、既ニ同シ趣意ヲ以チマシテ第六議會ニハ政府ヨリモ此案ハ提出ニナリマシタ位デ、其當時衆議院ハ此案ヲ議シマシタガ解散ニナリマシタカラ遂ニ消滅ノ姿ニナツテ仕舞ッタ、又此案ニ附キマシテハ雙方トモ地方ヨリハ前々カラ斯クナラムコトヲ政府ヘ上申ノ事モアルサウデゴザイマス、固ヨリサウ云フ譯デアリマスルカラ雙方ニ苦情ハ少シモゴザイマセヌシ、又雙方ノ便利ニナツテ少シモ不都合アルコトハ見出シマセヌ、又此案ニ附イテノ理由ハ極簡單ナコトデゴザイマシテ深イコトハアリマセヌ、唯其松山地方裁判所ヨリ大阪控訴院マデト廣島控訴院マデトノ遠近ヲ較ベテ見マシテモ大阪ハ廣島ヨリ遠イコト海路百四十餘里モアリマシテ甚ダ總テノ事ニ不便ヲ感ジマス、又鳥取地方裁判所ヨリ廣島控訴院マデト大阪控訴院マデトノ距離ヲ較ベマスルト廣島ハ大阪ヨリ遠イコトハ三十里バカリモ

遠イサウデゴザイマシテ、當今ハ汽車其他ノ便利ハアリマスルケレドモ總テ何カニ誠ニ不便ナコトガ少カラヌ様デアリマス、旁、以チマシテ雙方地方人民モ頻ニ變更アラムコトヲ望ミデ居リマシテ外ニ何モ故障アルコトハ見出シマセヌ、是レダケノ理由デゴザイマス、夫レデ委員會ハ一人ノ異議者モナク全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、ドウゾ可決セムコトヲ望ミマス、夫レダケデゴザイマス、

○男爵西五辻文伸君 此議案ハ至極簡單ナモノデゴザイマスカラ讀會ヲ省略シテ直ニ議決ニナラムコトヲ望ミマス、

○調所廣丈君 贊成、

○小原重哉君 贊成、

○南郷茂光君 贊成、

○澤簡德君 贊成、

○子爵小笠原壽長君 贊成、

○子爵舟橋遂賢君 贊成、

○山田卓介君 贊成、

○子爵伏原宣足君 贊成、

○伯爵中川久成君 贊成、

○伯爵大原重朝君 贊成、

〔贊成〕ト呼ブ者アリ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 西五辻男爵ヨリ讀會省略ノ要求ガゴザイマス、定規ノ贊成ガゴザイマス、讀會省略ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 起立者三分二以上ト認メマス、讀會省略ニナリマシタ、

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

明治二十三年法律第六十二號裁判所位置及管轄區域表中大阪控訴院管轄伊豫國ヲ廣島控訴院ノ管轄ニ變更シ又廣島控訴院管轄因幡伯耆ノ國ヲ大阪控訴院ノ管轄ニ變更ス

此ノ法律ハ明治二十八年四月一日ヨリ施行ス

但シ明治二十八年三月三十一日以前ニ係ル松山地方裁判所及鳥取地方裁判所ノ裁判ニ對スル上訴ハ各從前ノ控訴院ヲシテ管轄セシム

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デゴザイマス、本案ハ可決セラレマシタ、次ニ明治二十三年法律第四十六號水利組合條例中改正追加法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告、

〔子爵鍋島直彬君演壇ニ登ル〕

○子爵鍋島直彬君 本案委員會ノ經過竝ニ其審査結了ノ要領ヲ報告致シマス、委員會ハ第一回ハ委員長ノ選舉ニ止メマシテ、第二回第三回兩度委員會ヲ開イテ審査ヲ致シマシテゴザイマス、此水利組合法案ハ御承知ノ通り明治二十三年ノ六月公布セラレマシタル法律デゴザイマシテ、爾後年ヲ經テ水利組合ノ事業ノ發達スルト共ニ又從ッテ其利益弊害モ之ニ伴ウテ生ジマスルコトハ免レマセヌコトデゴザイマス、此追加改正案ハ政府ニ於テモ全ク同意ヲ表シ贊成ヲ致スト云フコトデアリマシテ、政府委員ヨリモ既ニ此案ノ一讀會ノ初ニ於テ其事モ議場ニ於テ述べラレマシタ、夫レデ委員會ニ於テハ政府ノ此案ニ同意ヲ表セラレ贊成致サレルト云フ所以、又現行法ノ儘デハ不十分デアリ實際差支ヘルト云フ點ハ如何ナル點ニ在ルカト云フコト等ヲ段々細カナ質問モゴザイマシタ、尙ホ委員會中ニハ最モ此地方ノ實際ノ經驗アル此水利組合等ノ事ニ就イテ考案モアル諸君モゴザイマシタ、實際ノ利害得失上、又曩キニ述べマシタル通り水利組合ノ追々發達スルト共ニ實際差支ヘル、現行法デハ差支ヘル點ノ有無竝ニ此案ノ改正案ノ每條ニ就イテ細ニ審議討論ヲ致シマシテ、一二此改正案ニ向ッテ異論モゴザイマシタケレドモ、詰リ此改正案ハ現行法ノ明ナラザルヲ明ニシ具ハラザルヲ補ヒ、實際上差支ヘル點ニ向ッテ追加改正ヲ致シタルモノデアッテ、其字句等ノ間ニモ一二ノ穩ナラヌト云フ所ノ説モ出マシテゴザイマスガ、要スルニ此追加改正案ノ如クナリマシタガ總テ明瞭ニナリ、又順序モ能ク整頓シ、實際上モ差支ガナイ様ニナルト云フコトヲ認メテ、委員會ニ於テハ多數ヲ以テ一字ノ修正ヲモ加ヘズシテ可決シマシタル次第デゴザイマス、此回付ニナリマシタル案ニ皆總テ此對照スベキ現行法ノ箇條竝ニ參考ニナル町村制市制等ノ條モ附屬シテ居リマスカラ、諸君ハ御對照ニナレバ能ク此追加改正案ノ是レダケ變ッテ居ルト云フコトハ私ガ一々細ニ申上ゲンデモ御分リニナッテ居ルコト存ジマス、併シ可決ヲ致シマシタル二三ノ重ナル要點ヲ短簡ニ述べルコトニ致シマス、尤モ此度ノ此追加改正ハ第二十條即チ始ノ條ガ重ナル點ニナル様ニ思ハレマス、此第二十條ハ即チ現行法デハ組合會議員ノ數、資格ヲ組合規約決定メルト云フコトヲ現行法デ許シテアリマスガ、現行法ニハ組合會議員ノ選舉人ノ資格ヲ定ムルト云フコトハ組合規則ニ許シテナイデゴザイマス、是レガ最モ重ナル點デアッテ其改正ニナッタ次第ハ普通水利組合員杯ニ致シテ見マスルト、即チ現行

ノ第七條ニ「普通水利組合ハ組合事業ノタメニ利益ヲ得ル土地ヲ以テ區域トシ其土地所有者ヲ以テ組合員トス」ト云フコトガゴザイマス、夫レデ現行法ニ致スト言葉ヲ極端ニ立テマスルト尺寸ノ土地デモ有シテ居リサヘスレバ皆組合員ノ選舉人タルコトガ出來ルト斯ウ云フコトニナツテ居リマシテ、各地ノ狀況ニ依ツテ選舉人ノ資格ヲ組合規約ヲ定ムルコトハ出來マセヌノデゴザイマス、然ルニ實際上ニ於テハ水利組合ノ事業ノ益、發達スルト共ニ唯組合員タルノ資格ニ止マラズ其ニ上ニ尙ホ選舉人タルノ資格要件ヲ附セネバナラヌト云フ實際上ノ狀況モアル趣デゴザイマス、是レ等ハ矢張り議員ノ資格ヲ組合規約ヲ定ムルコト同様ニ矢張り選舉人ノ資格ヲモ又其土地ノ狀況ニ依ツテ組合規約ニ定ムルコトヲ法律ヲ許シテ置カヌケレバ實際上不都合ノ點ガ多イト云フノデ纏マリマシタ次第デアリマス、夫レデ之ニ向ツテ委員會中ニ一ノ異論ガゴザイマシタ、其事ヲ述ベマスルコトニ致シマス、其異論ハ現行法ノ第七條ニ土地所有者ヲ以テ組合員トスト云フ明文ガアル、土地所有者ガ組合員デアレバ其組合員ニ於テ或ハ選舉人トナリ得ラレル選舉人トナリ得ラレルコト云フ權利ノ有無ガ生ズルト云フコトハ甚ダ此第七條ノ法律ノ精神ト矛盾牴觸スルモノデアアル、組合員ハ即チ同一ノ權利アツテ選舉人トナルベキガ至當デアルト云フ論ガ出マシテ、此選舉人ト云フコトヲ二十條ニ現行法ニナイモノヲ加ヘタノハ法律ノ精神上穩ナラヌト云フ斯ウ云フ異論デゴザイマス、尙ホ其論ニ就イデ種々研究致シマシテ見マシタルニ成ル程唯今ノ御説モ一應道理ノアル説ノ様ニゴザイマス、併シ此現行法ノ第七條ノ組合ノ設置及廢止ト云フ即チ第二章デゴザイマス、是レハマダ組合ノ會議ト云フモノノ生シナイ出來ナイ前ノ事デゴザイマス、事業ノタメニ利益ヲ受クル土地ヲ以テ區域トシテ普通水利ノ組合ト云フモノガ、組合員ト云フモノダケガ成立ツタ場合デアアル、夫レデ即チ現行法ノ第三章水利組合ノ會議ト云フ所ニ至ツテ始メテ委員トカ選舉人トカ被選舉人トカ云フ者ガ茲デ始メテ現レノデアリマス、即チ第二十條ハ第三章ノ水利組合ノ會議ト云フ中ノ一條デゴザイマス、夫レデ此水利組合ノ會議ト云フモノガ出來ルトキニ至ツテ即チ選舉人ト云フモノノ資格、被選舉人ノ資格ト云フモノガ始メテ定マルコトニナリマスカラ、唯組合員ト申スダケノ場合トハ決シテ此水利組合ノ會議ヲ組織スル所ニ至ツテ其資格ノ生シテ來ルト云フコトハ牴觸スルコトハナイト云フコトニ委員ノ多數ハ認メテ、即チ此選舉人ニモ土地ノ狀況ニ依ツテ適當ノ資格要件ヲ組合規約ヲ定メルノハ宜シイト云フコトニ議決致シマシタノデゴザイマス、夫レカラ此二十條ニ「組合會議員ノ選舉ニ關シテハ市町村會議員選舉罰則ヲ適用ス」ト新ニ加ハリマスコトニナツテ居リマス、是レモ是レマデハ無カッタノデゴザイマスケレドモ、追々事業ノ進ムト共ニ選舉ニ關シテハ競争其他ノタメニ何トカ

取締ガゴザイマセヌト云フト實際上ニ頗ル差支ガアルト云フノデ、是レモ餘儀ナク斯ウ云フコトニナラヌケレバナラヌト云フ次第デゴザイマス、夫レカラ此第二十三條、是レハ別ニ現行法ト大ニ變ツタト云フ點モゴザイマセヌガ、此變ツテ居マス所ノ中デ重ナル點ヲ申シマスルト云フト現行法デハ「其組合ノ區域、郡市又數郡ニ涉ル場合ニ於テ組合會ノ議決ニ不服アル者及郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ」云々トゴザイマス、是レガ斯ウナリマス云フト現行法ノ儘デ置キマスルト云フト此組合ノ區域ガ單ニ市内ニ止ツテ市長ガ管理者トナツテ居ル場合又郡内ニ止ツテ郡長ガ管理者トナツテ居ル場合ニモ尙ホ郡ノ參事會ニ訴願スル手續ニナリマスルノデゴザイマス、夫レデ是レハ矢張り改正案ハ夫レヲ避ケテ「次項ノ場合ヲ除ク外」トシテ其次項ニ向ツテ「市内ニ止ル場合及郡内ニ止ルモ郡長管理者タル場合」ト云フ文字ヲ増加致シデアリマス、是レモ訴願ノ順序上如何ニモ斯ノ如クナリマシタ方ガ妥當デアラウト思ヒマス、其他ハ二十條デ選舉人ヲ組合規約ヲ定ムルコトニ改正スルコトニナツテ居リマスノデ、選舉權被選舉權ノ效力ニ關スルト云フ様ナコトニ此條ガナツテ居リマス、是レハ二十條ノ結果デ其他ハ此條中ニ大分變ツテ居リマス様ニ現行法ニ比較スルト見エマスルガ詰リ足ラザルヲ補ヒ明ナラザルヲ明ニシテ明瞭ニナツタト云フ位ノコトナノデ、夫レカラ此四十六條、是レハ少シ精神ガ變ツテ居リマス、現行法デハ管理者ノ處分ニ附イテ即チ現行法ノ四十六條、「此法律中別段ノ規定アルモノ、外管理者ノ處分ニ不服アル者」別段ノ規定ノナイモノハ何事モ管理者ノ處分ニ不服アルトキハ總テ訴願シテ宜シイト云フ途ヲ開イデアリマス、此改正案デハ「監督官廳ノ處分ニ不服アル」ト斯ウ變ツテ居リマス、是レモ管理者ノ處分ニ不服ナコトハ何事デモ訴願スルト云フコトニナリマスレバ行政理事者ノ仕事ト云フモノハ夫レガタメニ遂ニ鈍クナツテ伸ビヌト云フコトニナリマス、サウシテ始終何ニ付ケデモ訴願ガ起ツテ事業ガ擧ラナイト云フコトニ或ハ至ルカモ知レナイ、夫レデ此管理者ノ處分ニ對シテノ訴願ハ改正案デハ即チ此二十三條ノ二項竝ニ第四十七條ノ様ナ明文ノアル場合ノミニ止メテアルノデ、夫レデ「監督官廳ノ處分ニ不服アル者」ト云フコトニ變リマシタノモ是レモ町村制等ニ倣ウテ斯ノ如ク改正ニナツタモノト思ハレルノデ、是レモ此通りニナツテ宜シイト云フコトニ委員會デハ決シマシタ、夫レカラ重ナル事柄ノミヲ申上ゲマス次第ガ此所ニ參リマシタカラ述ベマスガ前キニ字句ノ事ニ附イテ説モアツタト云フコトヲ申シマシタガ其事ヲ一ツ擧ゲテ申シマス、此四十六條中ニ「行政訴訟ハ處分書若ハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ二十一日以内ニ提出スヘシ」トゴザイマス、是レハ總テ近來ノ法文ニハ此訴訟ヲ提起スルト「起ス」ト云フ字ニナツテ居マスノデゴザイマス、併シ既ニ此法案中ニハ訴願及訴訟ヲ提

出スルトカ云フコトモゴザイマス、町村制杯ノ現行法ニモ矢張り「訴訟ヲ提出スル」ト云フ様ナ文字モ現レテ居リマスノデ、強テ之ヲ是非修正致サネバナラヌト云フコトモアルマイト云フコトデ其儘ニシテ置キマシタノデゴザイマス、夫レカラ今一ツ重ナル點ヲ述ベマスルト云フト此五十四條ノ中ニ二ツノ不都合ヲ生ズルコトガ現行法デハアル様ニ見エマス、夫レハ那ノ點ニ在ルカト申スト現行法第五十四條ニ「水利組合管理者及其事務ニ服従スル者ニ對シ懲戒處分ヲ要スルトキハ町村制第二百二十八條ヲ適用ス」ト云フコトガゴザイマス、是レガ管理者及其事務ニ服従スル者ニ對シテト申スト、管理者ハ即チ町村長デモ市長デモ郡長デモ皆這入ルノデアリマシテ、之ヲ現行法ノ様ニ町村制ノ第二百二十八條バカリヲ適用シテ懲戒處分ヲ致シテ之ヲ審問裁決スルト云フコトニナリマス、一ツノ不都合ヲ生ズルト云フコトニナリマス、夫レハ町村制ノ第二百二十八條ノ四ト申ス所ニ「懲戒裁判ハ郡長其審問ヲ爲シ郡參事會之ヲ裁決ス」夫レデ第一府縣知事ガ第一次ノ監督官廳タル場合即チ郡長市長ノ管理者タル場合ニ向ッテ町村制ノ第二百二十八條ノミ適用致シマスルト唯今申述ベマスル通りニ郡長ガ審問シテ郡參事會ガ裁決ヲシナケレバナラヌト云フコトニナリマス、デゴザイマス、此改正案ニハ二ツニ分チマシテ「組合ノ區域都市若ハ數郡ニ涉リ又ハ市内ニ止ル場合及郡内ニ止ルモ郡長管理者タル場合ニ於テ前項ノ處分ヲ要スルトキハ市制第二百二十四條ノ例ニ依ル」ト云フコトニナッテ居リマシテ、市制第二百二十四條ト申シマスルト即チ「懲戒裁判ハ府縣知事其審問ヲ爲シ府縣參事會之ヲ裁決ス」ト云フコトニナッテ居リマス、斯ウナリマスルト唯今述ベマシタ如キ不都合ヲ生ジマセヌノデアリマス、夫レカラモウ一ツ五十四條ノ不都合ト申スノハ五十四條ノ後半……半バノ後ノ方ノ所、現行法ニ「其職務ヲ盡サス又ハ權限ヲ超ヘタル爲組合ニ賠償スヘキコトアルトキハ町村制第二百二十九條ヲ適用ス」トゴザイマス、夫レデ町村制ノ第二百二十九條トスルモ此參照書ニ這入ッテ居リマスと思ヒマスガ、是レハ即チ賠償ノ訴ハ郡參事會ガ裁決ヲ爲シ夫レカラ遂ニ行政裁判所ヲ終審トスルト云フコトニナッテ居リマス、然ルニ行政裁判法ノ第十六條ニ「行政裁判所ハ損害要償ノ訴訟ヲ受理セス」ト云フ明文ガ出テ居リマス、夫レニモ拘ラズ是非此取除ケノ法ヲ設ケテ是レニ限ッテハ此賠償ノ訴ヲ行政裁判所ニナサシメルト云フコトニナリマシテハ穩當ナリマセズ、夫レダケノ特例ヲ設ケルノ必要ハナイト存ジマス、又斯ノ如ク賠償ノ訴杯ヲ行政機關タル郡參事會トカ縣參事會デ裁決致スト云フコトハ到底穩ナリマセヌコトデゴザイマスカラ是レ等モ此改正案デハ省イデアリマス、省イタ方ガ宜イト委員會ニ於テモ認メマシタ、夫レデ細ニ此現行法ト對照致シマスルト餘程變ッテ居リマスル様ニチヨット見エマスルガ、詰リ要スルニ此追加改正案ハ現行法ノ足ラザルヲ補

ヒ又差支アル箇條ハ省キ訴願ノ順序等ヲ總テ此改正案ノ二十三條ノ例ニ倣
テ悉ク順序ヲ明ニシ其間差支ノナイ様ニ致シタト云フニ止マルノデゴザイマ
シテ別ニ甚シク改正ハゴザイマセヌ、併シ曩ニモ述ベマスル通り此水利組合
ノ事業ノ進歩致シ發達致スト共ニ自ラ法律ノ不完全ナルタメニ種々ナ差支面
倒ヲ生ズルト云フ點ヨリスノ如ク追加改正ニナルコトハ已ムヲ得ヌ次第デア
リマセウト存ジマスルノデゴザイマス、而シテ此改正タルヤ總テ此府縣制ト
カ或ハ市制、町村制、府縣會議員ノ選舉規則杯ト云フ様ナモノニ依リマシテ夫
レ等ニ準ジテ法案ガ成立ッテ居リマシテ、或ハ現行ノ後ノ條ニ在ルモノヲ前ノ
條ニ引上ゲルトカ何トカ云フ様ナ次第デゴザイマシテ、細ニ每條ニ就イテ夫
レ等ノコトヲ申上ゲル必要モナイコトト存ジマス、委員會ニ於テ可決致シマ
シタル所ノ大要ハ右ノ次第デゴザイマシテ、現行法ヨリハ此追加改正案ノ方
ガ宜シイ、又此通りニナケレバ差支モアルト認メマシテ此改正案ヲ可決致シ
マシタ次第デゴザイマス、私ノ述ベマシタル所ガ不十分デ御疑ノ廉モゴザイマ
スルナラバ私が委員會ノ審査ノ次第ヲ記憶致シテ居マスダケハ御答ヲ致シ
マス、又私ノ答デ盡シマセヌ所ハ委員諸君ヨリモ御答モアラウト存ジマス、
可決致シマシタル所ノ要領ハ斯ノ如キモノデゴザイマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 一應休憩ヲ致シマス、

岩村高俊君 柴原和君
千阪高雅君 平田東助君
角田林兵衛君

議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 午前ノ會議ヲ繼續致シマス、

○水之江浩君 議長、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 水之江君ハ御發議ナシテゴザイマス、

○水之江浩君 私人委員長ニ質問ヲ致シタウゴザイマス、午前ニ土地所有

者ヲ以テ組合員トス併ナガラ第三章ニ……(聽取レス)組合會成立シタキハ

……(聽取レス)其組合員トナルト云フ様ナコトヲ承リマシタガ私ガ承リ違ヒ

デゴザイマス、カドウデゴザイマス、チヨット念ノタメニ御答ヲ願ヒタイ、

○子爵鍋島直彬君 唯今水之江君カラ本員ノ述ベマシタ次第ガ明瞭ニゴザ

イマセナシタガ質問ガゴザイマシタガ、本員ノ申シマシタハ組合規約デ選

舉人ノ制限ヲ定メタルコトハ現行法ノ第七條デ組合員ハ斯ノ如キモノデア

云フ資格ヲ定メタル以上ハ其結果ニ付テ選舉人ノ資格ノ制限ヲ組合規約デ

定メタルコトハ法律ノ精神上抵觸スルコト云フ一ノ異論ガアリマシタ云フコト

ノ委員會ノ有様ヲ述ベルト共ニ其異論ハ現行法ノ七條ハ水利組合ト云フモノ

ハドンナモノデアアルト云フ即チ組合員ハ斯ノ如キ者ダト云フコトヲ定メテ

ルノデアアルト第三章ニ至ッテ會議ト云フコトガ始メテ生レテ出タ譯デア

ラ其會議ト云フコトニ就イテ即チ組合員ノ資格、組合員ヲ選舉スル人ノ資格

ト云フモノモ始メテ生ジテ來ル譯デアリマスカラ彼ノ七條ハ此二十條ト抵觸

スルコトハナイト云フコトヲ委員會ノ多數決シマシタト云フコトヲ報告致

シマシタ譯デアリマス、是レデモ御分リニナリマセヌカ知リマセヌ、是レデ

御分リニナリマセヌケレバ他ノ委員カラ御答ニナルデアリマセウ、

○水之江浩君 尙ホ御尋致シマス、此二十三條デゴザイマス、此二十三條

ニ「選舉ノ規定ニ違背スルコトアルトキハ其事ノ輕微ニシテ選舉ノ結果ニ異

動ヲ生セス若ハ其事ノ更正シ得ヘキ場合ヲ除クノ外其選舉ヲ無効トス」トア

リマス、然ルニ選舉規程ニハ違背シテ、背クコトハ背イタ、併ナガラ選舉ノ

結果ニ異動ヲ生ジナケレバ宜イト云フ趣ノ様ニ承リマシタガ、假令聊ノ事タ

リトモ選舉ノ規程ニ背イタ時分ニ、背イタノデハナイガ、背イタ時分ニハ異

動ヲ生ジハセヌカト思ヒマスガ、併ナガラサウニ云フ場合モアリマセウガ、若シ

サウ云フ輕微ニ違反スルコト云フ様ナ場合ハドウ云フ場合ノコトデアリマセウ

カ、又此輕微ト云フコトガチャント分リマセヌトキニハ其所ニ困難ナ事ガ出

來ハシマイカト疑フ生ジテ居リマス、夫レカラ此五十一條ノ「水利組合關係

者若ハ總代人總會議ニ出席セサル爲總會議ヲ開クコト能ハサル」然レト云フ

○子爵鍋島直彬君 二十三條ノ質問ハ能ク聽取レマセヌデアリマシタガ、

選舉ノ規程ニ違反スルコト云フコトハドウ云フコトデアアルカト云フコトデ、夫

レハ其先キノ方ノ選舉ニ就イテノ方法ハ種々ナ事ガゴザイマシテ、サウ云フ

コトヲ一々舉ゲルニ違ナイ選舉ニ就イテノ規程ト云フモノハ澤山デ、夫レハ

規約デ定メタルコトデ、即チ丁度府縣會議員選舉規則ノ第五十八條杯ガ丁度此

通りナ同ジ様ナ箇條デ出テ居リマス、是レハ何モ新ニ斯ウ云フコトガ勿論此

水利組合ニ始メテ此當選ノ無効ト云フノハドウ云フ場合ヲ言フノカト云フ程

ノ原則ヲ掲ゲルハ此水利組合法デハ此度新ニ加ヘタノデアリマスガ、是レハ

既ニ其通りニ府縣會議員選舉規則ノ第五十八條ニ斯様ナ條ガ出テ居リマス、

選舉ノ規定ト云フコトヲ一々舉ゲテ申スト云フコトハ選舉ニハ色々ノ方法ガ

アルノデゴザイマシテ、是レハ何レノ町村會議員ノ選舉ニモ總テノ議員ノ選

舉ニ規定ノナイト云フコトハゴザイマセヌノデ、細ニ申スニハ及バヌコトト

思ヒマス、夫レデ御満足ニナルヤラ、夫レカラ五十一條ノ關係者ト云フモノハ

ドンナモノデアアルカト云フ御尋ノ様ニ思ヒマシタガ、是レハ既ニ關係者ト云

フモノハ水利組合ノ普通水利組合並ニ水害豫防組合ノ如キモノノ其利害ニ關

係スル所ノ或ハ土地ノ所有ストカ或ハ土地家屋ヲ有スルコト云フガ如キ人ヲ申

シマスノデゴザイマス、夫レデ宜シウゴザイマス、

○水之江浩君 ドウモ私ニハ意味ガ取レマセヌ、其今ノ關係者夫レハ何條

ト何條ニ在リマスルト云フコトヲ伺ヒタイ、五十一條ノ關係者ト云フモノハ、

是レハ前ヲ承ケタ言葉デ、前ノ何條ト何條ヲ承ケタモノデアアルト云フ様ニ御

説明ヲ願ヒマス、

○子爵鍋島直彬君 何條ト何條ヲ承ケルト云フコトニナリマス、此水利

組合法盡ク此「關係者」ト云フコトニ關係シテ居リマス、水利組合ノ現行法

ヲ全ク御覽ニナレバ關係者ト云フモノノ現レテ居ル所モアレバ現レヌ所モア

ル、即チ水利組合ト云フモノハ即チ水利ノ其利害ニ關係ノアル土地ヲ有シ或

ハ土地家屋ヲ有スル如キ人ハ皆關係者デアアルノデゴザイマスカラ、何條何條

ヲ承ケルト云フコトハドウ云フ意味ノモノデアアルカ、チヨット御答ヲ致シ兼

ネマス、

○馬屋原彰君 此案ニ附イテ意見ヲ述ベタウゴザイマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 宜シウゴザイマス、

(馬屋原彰君演壇ニ登ル)

○馬屋原彰君 本員ハ此改正法案ニ附キマシテハドウカ否決ニナリタイト

云フノ意見ヲ持ッテ居リマス、其理由ハ此案ニ於キマシテ尙ホ篤ト考查ヲ盡

シタ上デナケラネバ容易ニ同意ガ出來ナイ箇條ガ澤山アリマスデゴザイマ

ス、今其一二ヲ舉ゲテ申シマスレバ此法案ノ第四十五條デゴザイマス、此第四

十六條ノ改正ハ本案中ノ最モ骨子トモ言フベキモノデアリマシテ、其改正ノ仕方ハドウカト申シマスレバ御承知ノ通り現行法ヲ見マスルト云フト管理者ノ處分ニ附キマシテハ廣ク訴願ガ許シテアリマス、所デ此度ノ此改正案ヲ見マスルニ此管理者ノ處分ニ對スル所ノ訴願ト云フモノヲ悉ク廢メテ其代リニ監督官廳ノ處分ニ對シテノ訴願ヲ許スコトニ改正ニナツテ居リマスルデゴザリマス、是レハ餘程事實ノ上ニ於キマシテモ前後ノ變リガアリマシテ此事ハ重要ノ問題デアラウト本員ハ考ヘマスルデゴザリマス、抑々此水利組合ト申シマスルモノハ殆ダ自治的組織ノモノデアリマシテ、其管理者ノ權限ノ如キモ收入金財產ノ管理會計出納ノ事マデニ涉ツテ居リマシテ頗ル範圍ノ廣イモノデアリマス、ソコデ其管理者ノ處分ニ對シテハ現行法ノ如ク廣ク訴願ヲ許スト云フコトハ極メテ緊要ノ事ト考ヘマスル、且ツ此水利組合事業ノ上ニ附キマシテモ監督官廳ガ常ニ十分ナル監督ヲ爲スニハ此訴願ト云フ道ガアツテコソ始メテ其目的ガ達シ得ラル、モノト考ヘマスル、然ルニ之ヲ悉ク廢シテ仕舞フト云フハ管理者其者ニ附イテハ都合ノ好イ改正デアルガ、監督官廳ノ監督上ニ附イテハ現行法ヨリハ甚ダ其必要ナル機關ヲ廢メテ仕舞ウタノデアツテ、詰リ監督ノ上ニ附イテハ甚ダ都合ナル結果ヲ起サウカト本員ハ考ヘマスルノデゴザリマス、夫レカラ第四十七條ノ所デゴザリマス、此第四十七條ノ改正ニ於キマシテハ組合費賦課ノ錯誤ニ關スル異議ニ附キマシテ訴願ノミガ許シテ行政訴訟ガ許シテナイ、是レ又甚ダ不當ナ改正デアラウト考ヘマス、現今他ノ諸々ノ法律ニ於キマシテ租稅及手数料ノ賦課ニ關スル爭論ト云フモノハ悉ク行政訴訟ガ許シテアル、夫レニモ拘ラズ唯此組合費ノ賦課ノ事ニ附イテ單リ訴訟ヲ許サスト云フコトハ抑々何ノ理由ニ依ルモノデアリマセウカ、本員ハ其理由ノアル所ヲ解釋ニ苦シマスルデゴザリマス、町村制ノ第五條杯ニ於キマシテモ丁度町村稅ノ賦課ノ事ニ附キマシテ段々下カラ訴願ヲ經テ上ツテ結局行政裁判所ニ訴ヘテ出ルト云フ明文ガアル如ク、其外ノ法律ノ上ニ於テモ租稅ニ關スル事ノ爭ハ其結局ハ必ズ行政訴訟ヲ許スコトニナツテ居ル、夫レデ此點ハ從來ノ立法ノ全體ノ方針ニ重大ナ影響ヲ及ボス事柄デアラウト思ヒマスルカラ十分ニ攷究ヲシナケレバナリマセスト本員ハ考ヘマスルデゴザリマス、夫レカラ此外本案ノ條項ニ附キマシテハ第二十三條、第二十三條ノ末項及第四十七條ノ末項ニ「本條ノ異議若クハ訴願ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス」ト云フコトガアルガ、是レ等ノ事柄ト云フモノハ殊更ニ此改正案ニ掲ゲナクテモ訴願法ナリ行政裁判法ナリニ明條ガ備ツテ居ルノデアール、此項ニ掲ゲルト云フト法律ノ體面上ニ於テ却ツテ變ナモノデアラウト考ヘマス、尤モ市町村制杯ニハ斯ウ云フ様ニ掲ゲテアルコトハ本員モ承知シテ居リマスガ、併シ町村制ハ例ニハナラナイ、ナゼ例ニナラナイカト云フニ町村制

ハ確カ二十二年ニ發布ニナリマシテ二十三年カラカ實施ニナツタ様ニ考ヘマスガ、即チ其後ニ訴願法ヤ行政裁判法ト云フモノガ出來テ發布ニナツタモノデアリマスカラシテ、若シモ市町村制ガ後ニ出來タナラバ、必ズ夫レ等ノ事ハ省イテ宜イケレドモ、前ニ出來タモノデアリマスカラ此儘ニナツテ居ルノデアール、將來ニ向ツテ夫レ等ノ法律ヲ改正シテ往キマスルニ附キマシテハ無論是レ等ノ事ハ訴願法ナリ行政裁判法ノ原則ニ讓ツテ置クベキモノデアリマス、故ニ此水利組合條例ヲ改正スルナラバ法律ノ體面上ニ於テモ是レ等ノモノハ重複ヲ避ケタイト思ウテ居リマス、依ツテ本員ハ此條例ヲ改正スルナラバ今一層完全適切ナル改正ヲ致シタイト云フ考デゴザリマス、又此條例ハ明治二十三年以來不完全ナガラモ行レツ、アル法律デゴザリマス、デ今日此軍國多事ノ際ニ當リ是非改正ヲシナクチャアナライト云フ程ニ實際不都合ハアルマイト思ヒマス、旁々以テ此改正ノ事ハ後ノ會期ニ讓リマシテ此度ハ此案ハ否決シタ方ガ宜シカラウト存ズル次第デゴザリマス、諸君幸ニ御同感ナラバ此否決ニ贊成アラムコトヲ切望致シマス、

○水之江浩君 政府委員ニチヨット御尋フ致シタウゴザリマス、此水利組合ノ方ニハ關係者トアツテ水害豫防ノ方ニハ組合員トアリマス、是レハドウダケノ區別ヲ取ツテアリマスカ、

○政府委員(江木千之君) 御尋ノ趣意ヲチヨット聽取兼ネマシテゴザリマスガ……

○水之江浩君 同ジク其創立ノ際ノコトデゴザリマスガ、水利組合ノ方ニハ關係者トゴザリマスガ水害豫防組合ノ方ハ組合員ト書イテアリマス、其區別ハドウ云フ差異ガアルノデゴザリマスカ、

○政府委員(江木千之君) 別ニ此案ニハサウ云フ區別ハ立ツテ居リマセヌノデゴザリマス、現今法ノ十七條ヲ御覽ニナリマスルト組合ノ關係者ト云フコトガ掲ゲテアルノデゴザリマス、此關係者ト申スノハ組合ヲ創立致シマスル前ニ組合ガ若シ成立ツタナラバ是レハ組合員ニナルベキ人デアルモノヲ指シテ關係者ト申スノデゴザリマス、組合ガ成立ツテ組合員トナツテ參リマセガ未ダ組合ガ成立シマセヌ前ハ組合ノ關係者ト云フ言葉ヲ用ヒテ居ルノデアール、

○水之江浩君 尙ホ御尋致シマス、十七條ニ創立委員ハ組合規約ヲ調製シ之ヲ組合員ノ總會議ニ付スヘシ其他ハ第十條及第十二條ヲ適用スト斯ウアリマス、是レハマダ此十七條ハ水利組合ハ創立シマスカ創立シマセヌ所デゴザリマスケレドモ組合員ト名ヅケテアリマスガ……

○政府委員(江木千之君) 夫レハ成ル程文字ノ使ヒ方ハ唯今他ノ場合ニ於テ關係者ト云フ字ヲ使ツテ居ル所カラ比較シテ見マスルト穩デゴザリマセ

又、併ナガラ是レハ組合ノ關係者ノ意味デアラウト存ジマス、
○水之江浩君 分リマシタ、

○箕作麟祥君 唯今馬屋原君ノ本案不同意ノ御演說ガゴザリマシタガ、少シ其御演說中ニ分ラヌコトガゴザリマシタカラ私ハ此案ニ附イテ贊否ヲ極メルタメニ馬屋原君ニ尙ホ一應確メテ置キタイト思ヒマス、現行法デアアルナラバ行政訴訟ガ出來ル、然ルニ此改正案ノ四十七條デハ行政訴訟ハ出來ヌ結果ニナルト云フ斯ウ云フ大略御說デ、四十七條ノ改正ニ對スル駁撃ハ斯ナモノデアラウト思ッテ居リマス、併シドウ云フ譯デ現行法ノ四十七條ナラバ行政訴訟ハ出來ル、改正案ノ方ニナルトドウ云フ譯デ行政訴訟ハ出來ヌト云フノデゴザイマス、ソコヲ少シ貫徹シナイ様ニ思ヒマスカラモウ少シ明瞭ニ御說明ヲ願ヒタイ、

○馬屋原彰君 御答ヲ致シマス、此第四十七條ノ改正案ニ依リマスルト云フト、管理者ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得ト斯ウアリマス、又此法律ハ内務大臣ニ訴願スレバ行政訴訟ヲ許サヌ、即チ行政訴訟ヲ許シタ場合ハ内務大臣ニ訴願スルコトハ出來ナイ、ソコデ此改正案デハ賦課錯誤ニ關係シテハ訴願ヲ許シ訴訟ハ許サナイ精神デアアルト云フコトハ判然分ッテ居ル、而シテ現行法ノ上ニ附イテハ如何ト云フ御尋デゴザリマシタガ現行法ノ上ニハ何トモ云ウテナイ、唯訴願ダケ許シテアルガ他ノ法律カラ矢張り出訴スルコトガ出來ルデアリマス、夫レハドウ云フ法律ニ依ッテ遺ルカト云フニ明治二十三年法律第六號ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル事柄ガ列記シテアリマスガ、其第一ニ海關稅ヲ除クノ外租稅及手數料ノ賦課ニ關スル事件トアリマス、即チ現行水利組合條例ニハ許ストモ訴サヌトモ書イテナクモ此百六號ノ法律ガアルカラシテ訴ヘルコトガ出來ルデアリマス、夫レニ附イテ尙ホ一言申シテ置キマスガ此四十七條ヲ唯表面ノ上カラ見マスルト成ル程内務大臣ニ訴願スルコトヲ得トアッテ訴訟ハ出來ナイ様ナレドモ段々細ニ分析シテ裏面ニ就イテ見ルト矢張り出來ルデアアル、ト申シマスルモノハ此組合費ノ賦課ニ附イテハ矢張り町村稅ノ規定ヲ適用スルノデアッテ、怠納處分ノ事ニ附キマシテハ即チ國稅怠納處分法ニ依ルノデゴザリマス、サウ云フ場合ニハ表面デハ訴訟ハ出來ナイガ其租稅怠納處分ト云フ場合ニナッタナラバ矢張り法律第六號ニ依ッテ出訴ガ出來ルノデゴザリマス、是レ改正案ハ不完全ナル法文デアリマス、大概此邊デ御分リニナッタラウト思ヒマス、

○政府委員(江木千之君) 簡短デゴザイマスカラ爰カラ述べマス、唯今馬屋原君ノ訴願ニ附イテ御說ガゴザイマシタガ、此現行ノ制度ニ於テ管理者ノ處分ニ附イテ一々訴願ヲ許シテ居リマスルガ、斯ノ如キ例ハ市制町村制郡制

府縣制ニ於テモ更ニナイノデゴザイマス、管理者ナルモノハ畢竟其水利組合會ノ議決ヲ執行スルコト云フコトガ重ナル仕事ニナッテ居ルノデゴザイマス、其組合會ノ議決ヲ經テ夫レヲ執行シタルモノニ不服アルモノハ常ニ訴願ガ出來ルモノト致シマシタナラバ議會ニ於テ少數ノ說デアッタモノハ常ニ其管理者ノ執行ニ附イテ不服ヲ訴フルト云フコトニナリマス、斯様ナ事ニナリマシタナラバ行政ノコトハ萎縮シテ、ドウモ行政ノ事務ヲ擧ゲテ往ク譯ニハ參リマスマイト思フ、夫レ故ニ市町村制デゴザリマシテモ郡府縣制デアッテモ決シテ斯ノ如キ場合ニ訴願ヲ許シテハナイノデゴザイマス、訴願或ハ行政訴訟ヲ許ス場合ハ自治體ノ權限ニ對シテ監督權ノ働イテ其監督權ノ働キ方ガ不都合デアルトカ、或ハ自治體ノ權限ヲ犯シタトカ云フトキニ始メテ其監督權ノ處分ニ附イテノ訴願ナリ行政訴訟ナリ受ケルコトニナッテ居リマスルノデ、一々管理者ガ行ッテ往クコトヲ悉ク夫レニ附イテ訴願ヲ許スト云フコトハ決シテ他ノ法律ニ於テハ例ヲ見マセヌノデゴザリマス、馬屋原君ノ御說ハ一種ノ訴願ノ方法ヲ御始メニナルノデゴザイマセウカ、現行ノ他ノ制度ニ對シテ甚ダ權衡ヲ得ナイコトニ考ヘマス、

(馬屋原彰君「現行法ニハサウナッテ居リマス」ト述ブ)

○水之江浩君 私ハ馬屋原君ノ如ク法理上ノ事ハ一向存ジマセヌガ、併ナガラ元來水利組合會ノ實地ニモ關係ガアリマシテ地方ノ狀況ヲ(聽取レス)馬屋原君ニ贊成シマシテ此案ハ否決アラムコトヲ希望致シマス、

○子爵谷干城君 私モ此案ニハ不同意デス、馬屋原君ニ贊成シマシテ否決ニナルコトヲ希望致シマス、今日斯ナモノヲ緊急ニ施行センニナラヌ必要ハナイ、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 他ニ御發言ノ御方モゴザリマセネバ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス、第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) ドウモ判然ト分リ兼ネマスカラ氏名點呼ヲ行ヒマス、

(氏名點呼ヲ行フ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 氏名點呼ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、出席總數百五、可トスル議員四十一、否トスル議員六十四、依ッテ本案ハ第二讀會ヲ開クベカラザルコト即チ廢案ニ決シマス、次ニ府縣稅徵收法中改正法律案、男爵金子有卿君發議、第一讀會ノ續、即チ前會ノ續ヲ開キマス、

○藤村紫朗君 チョット質問ヲ致シマス、一昨日委員長ヨリノ御報告ノ中

ニ此改正案ノ第五條ノ市町村ノ下ニ長ト云フ字ヲ入レルト云フコトニ附イテ
委員會ニ於テ……委員ニ於テ之ヲ加ヘナケレバナラヌト云フ説ガアツタト云
フコトデゴザイマシタガ、之ヲ加ヘルト云フ御説ノ特別委員ニ御尋ヲ致シタ
イノデゴザイマス、之ヲ御加ユナルト云フノハドウ云フ理由デアツタカト云
フコトヲ御説明ヲ請ヒタイト思ヒマス、

○柴原和君 私モ委員ノ一人デゴザイマスルカラ御答ヲ致シマスガ長ノ字
ノ加ヘテアツタノヲ削ッタカラ削ッタ理由ハゴザイマスルガ矢張り加ヘタ理由
モ御承知ニナリタイト云フコトデゴザイマス、

○藤村紫朗君 委員ノ中ニハ長ノ字ヲ加ヘナケレバナラヌト云フ御説ガ
アツタト云フコトガ昨日委員長ノ御報告中ニアツタノデゴザイマスカラ其委
員ニ加ヘルト云フ理由ヲ承リタイノデゴザイマス、

○子爵岡部長職君 唯今藤村君ノ御質問ガゴザイマシタガ、此第五條ニ長
ト云フ字ヲ加ヘナケレバナラナイト云フコトヲ主張サレマシタル委員ハ唯今
此席ニハ見エマセヌ様デゴザイマス、是レダケ申シマス、

○藤村紫朗君 當席ニ居ラレマセヌケレバ已ムコトヲ得マセヌデゴザイマ
スルガ、夫レデハ政府委員ニ御尋ヲ致シタイ、政府委員デモ此長ノ字ヲ加ヘ
ルノガ必要デアルト云フコトヲ段々説明ガアツタト云フコトデゴザイマスガ、
ドウ云フコトデ此長ノ字ガ必要デアルカ、夫レヲ承リタイノデゴザイマス、

○政府委員(江木千之君) 御答ヲ致シマスルガ、此徵收法ノ第五條ニ市町
村ニ對シテ徵稅令書ヲ發シ、サウシテ市町村長ハ之ニ依ッテ徵稅傳令書ヲ發ス
ルト云フコトニナッテ居リマスルガ、其意味ガドウモ十分ニ現行法デハ分リ兼
ネルノデゴザイマス、ト云フノハ市町村ニ對シテ徵稅令書ヲ發スルト云フコ
トニシマスレバ即チ其事務ハ市町村ト云フ團體ノ事務ニナルノデゴザイマ
ス、果シテ團體ノ事務ニナルノデアレバ市町村長ガ徵稅傳令書ヲ發スルト云
フコトハ穩當デナイ、市參事會町村長……市參事會町村長ガ徵稅傳令書ヲ發
シナクテハナラヌノデアアル、團體ノ事務トナル以上ハ市長ト云フモノガ扱フ
ノデハナイ市參事會ガ扱ハナケレバナラヌ、市參事會町村長ガ徵稅傳令書ヲ
發スルト云フコトニナラナクテハナラヌ、市町村ト云フコトヲ第五條ニ存シ
テ置クナラバ自然ノ結果デサウナラナクテハナルマイ、然ルニサウ云フ改正
ノ仕方モアリマスルガ又市町村トアル下ニ長ノ字ヲ加ヘ市町村長ニ徵稅令書
ヲ發シテサウシテ市町村長ガ徵稅傳令書ヲ發スルト云フコトニ致シマシタナ
ラバ市町村ト云フ自治團體ノ事務ニナラズシテ依然トシテ府縣ノ行政事務ト
シテ存シテ居リマスルカラ、矢張り市町村ト云フ下ニ長ノ字ヲ加ヘテ市町村
長ニ對シテ徵稅令書ヲ發シ其徵稅令書ニ依ッテ徵稅傳令書ヲ發スルノモ矢張
リ市町村長デアルト云フコトニシタナラバ自治團體ノ事務ニ移サズシテ是レ

ハ府縣ノ行政トシテ市町村長ト云フ吏員ニ取扱ハセルト云フコトニナルカ
ラ、改正ヲスルノニ二様ノ改正方法ガアレバ寧ロ市町村ト云フ下ニ長ト云フ
字ヲ加ヘルト云フ改正ノ方ガ宜シカラウト云フコトヲ委員會ニ於テ申述ベタ
ノデゴザイマス、然ルニ夫レハ餘程込入ッタ議論ニナッテ來ルノミナラヌ國稅
徵收法ニ於テモ既ニ現行ノ府縣稅徵收法ノ如ク規定シテアルモノデアアルカラ
シテハ府縣稅徵收法タケヲ直サウト云フノハ甚ダ穩デナイ、直スナラバ國
稅徵收法ト云フモノモ共ニ直サナケレバナラヌ、然ルニ國稅徵收法ハ曩ニ議
會ノ協贊ヲ經テ改正セラレタ位ノモノデアアルカラシテ、今日此タメニ態々改
正シナケレバナラヌト云フ程ノコトデモアルマイ、從ッテ府縣稅徵收法モ先
ヅ此儘デ置イタラ宜シカラウト云フ委員會ノ意見デゴザイマシタカラシテ、
政府モ強テ夫レニ對シテ異論モ唱ヘマセヌノデゴザイマス、斯様ナ行掛リニ
ナッテ居リマス、

○名村泰藏君 一昨日修正ノ第三項ノ所デ徵收ノ期限ガ入ッテ居ナイト云
フ質問ガゴザイマシタガ、其節ノ辯明ガ少シク十分デナカッタ様デゴザイマ
スカラモウ一應御尋ヲ致シマス、國稅徵收法ノ第十三條ニ於テ昨年徵稅ヲ改
正サレテ納期後三日以内ト云フコトガ書イテアリマス、北海道及町村制ヲ施
行セザル島嶼ノ國稅徵收方第七條ニ於テハ納期後五日以内ト云フコトガ改正
デ加ヘラレマシタ、其節其加ヘラル、理由ヲ政府委員ニ尋ネマシタ所ガ報告
ノ期限ガナケレバ甚ダ市町村ニ於テ怠慢ノ弊ガ生ズル、其怠慢ノ弊ヲ生ズル
コトヲ矯メルタメニ期限ヲ設ケテ置カナケレバナラヌ、デアアルカラ三日又ハ
五日ト云フ報告期限ヲ定メラレマシタガ、此度ノ修正ニハ其期限ガ定メテア
リマセヌガ此理由ハドウ云フ譯デアリマス、一應政府委員ナリ又ハ特別委
員ノ御人ニ御尋ヲ致シタイ、何レカラ御答辯ニナッテモ差支ゴザイマセヌガ、
ドウカ……

○柴原和君 本員ガ唯今ノ御尋ニ御答ヲ致シマスガ、委員會デ丁度唯今ノ
御尋ノ様ナ説モ出マシタ、國稅ノ十三條ニ三日以内トアル、併シ府縣稅ニ於
テハ……サウ致シマスルト國稅ハ單一デアアルガ府縣稅ハサウデアリマセヌカ
ラ、夫レ故ニ三日デハ窮屈デ差支ヘルト云フガ一ツデ、現行ノ所ヲ能ク政府
委員ニ承リマシタガ府縣制ヲ施イテ居ラヌ府縣ニ於キマシテハ之ヲ郡長處
分ヲ致シテ居リマス、サウシテ見マスルト僅カ二錢三錢ノ小サナコトマデモ
郡長自ラ支配シナケレバナラヌト云フコトデ甚ダ差支ヲ生ジマス、此改正ニ
ナリマスルト府縣出納吏ニ報告スルトナルト、夫レハ郡長デゴザイマスカラ
郡長カラ町村長ニ命ジテ取扱ハセル、其便法ガ開ケル、夫レヲ市町村ニ更ニ
達スルニハ三日デハ中々出來ナイ、三日トスルト期日ガ過ギル、七日モ十日モ
カ、ルコトガアルカラ、夫レデ是レハ入レナイ方ガ宜カラウト云フ説ガ第二

デゴザイマス、夫レカラ又此事ハ三日ト云フコトヲ加ヘルニハ格別論モゴザイマセヌダツタガ、左ノ一項ヲ加ヘテ理由ヲモウ少シ申シテ置キマスガ、是レハ現行ノ府縣制ヲ施イテ居ル所デハ市町村長ガ……郡長デハガアセヌ市町村長ガ現ニ取扱ツテ居リマス、然ルニ之ヲ市町村ノミニ取扱ハセルト甚ダ不便ニナル、夫レデ此法律ガ左ノ一項ヲ加ヘルト、市町村長ガ是非取扱ハナケレバナラヌト申スノハ府縣制第六十七條ニ「府縣稅ハ法律命令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルモノヲ除クノ外各市町村長ニ於テ市町村稅徵收ノ手續ニ依リ之ヲ徵收スヘシ」ト云フ明文ガアリマシテ、此條項ヲ加ヘマセヌト市町村長ガ取扱ハネバナラヌコトニナリマス、其一項ヲ加ヘマセヌト郡長ガ取扱フコトニナリマス、又模様ニ依ツテ町村長ニ取扱ハセルコトガ出來ルト云フコトデ之ヲ加ヘマシタ、此事ヲチヨット申シテ置キマス、

○名村泰藏君 マ少シ要領ヲ得マセヌデゴザイマス、此朱書ノ修正ハ郡長ノ職務ヲ定メタモノデナクシテ市町村長ノ職務ヲ定メタモノノ様ニ考ヘマス、シテ見マスルト國稅徵收法ノ市町村ノ役目モ此修正ノ市町村長ノ役目モ格別變ツタ様デハアリマセヌガ、報告期限ヲ除ケタノハ少シ分リ兼ネマス、是レハ郡長ノ職務デアルナラ格別、市町村長ノ役目デアルト國稅徵收法ノ十三條ノ改正ト少シモ變ラヌ様デゴザイマス、其邊ハ如何デゴザイマス、

○柴原和君 是レハ即チ市町村長ガ此期限ヲ過ギ税金ヲ完納セザル者アルトキハ其滞納ノ税目金額及滞納人ノ住所氏名ヲ記載シテ郡長ニ報告シテ郡長ガ取扱フコトト考ヘテ修正ヲ致シマシタ、

○名村泰藏君 ドウモ能ク分リマセヌガ、納期後五日以内ト云フ修正ヲ提出致シタウゴザイマスカラ、唯今申シマシテ宜シウゴザイマスカ、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 修正ハ唯今御出シニナル場合デハアリマセヌ、

○名村泰藏君 二讀會デ……

○政府委員(江木千之君) 先刻名村君カラノ御尋デゴザイマシタガ、政府委員カラ申上グル様ニト云フ御言葉ガアツタ様デアリマシタカラ申上ゲマス、委員會ニ於テ修正ニ同意ヲ表シマシタ理由ヲ一應申述ベテ置キタイ、成ル程國稅徵收法ニモ三日以内ト云フ期限ガ附イテ居リマス、夫レデ此徵收法ニモ三日ナリ五日ナリノ期限ガアツタ宜カラウト云フ説ガ委員會デ出マシタノデゴザイマス、然ルニ此府縣稅ノ徵收法ニ期限ヲ定メルト云フコトハ、極リハ能ク附キマスガ實際實行上ニ於テ甚ダ困ル場合ガ出來ラウト云フコトカラシテ期限ハ附ケヌコトニ致シマシタノデゴザイマス、國稅デアリマスト誠ニ稅ノ種類モ單純デゴザイマシテ地租トカ所得稅トカ、直接國稅ハ誠ニ單純デゴザイマシテ、納稅人モ餘程少イ、夫レデ市町村役場デ報告致シマスニ三日

ト期限ガ切ツテアツテモドウカ斯ウカ問ニ合フノデアリマス、府縣稅ノ方ハ地租割トカ戸數割トカ營業稅雜稅種々ナモノガアリマス、又納稅人モ種々種類ガアリマシテ今日ノ市町村役場ノ有様デハ五日ノ期限ニシテモ連モ手ガ回リ兼ネヤウト考ヘマス、然レバ餘程長イ期限ニ定メルカト申シマスルト、長イ期限ヲ定メマスルト左程ノ效能モナイ譯デアリマスカラ、夫レデ諸リ各地方ノ便宜ニ任シテ府縣知事ノ見込デ縣令ヲ發シテモ宜シ、又期限ヲ定メズニ行レテ行ク地方ハ夫レデモ宜シ、諸リ地方ノ便宜ニ任スト云フ御論ヨリシテ斯ウ云フコトニナリマシタノデゴザイマス、政府委員モ之ニ對シテ同意ヲ表シマシタノデゴザイマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 二讀會ヲ開クベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デゴザイマス、

○子爵岡部長職君 本案ハ一昨日モ不幸ニシテ議事ヲ繼續スルコトヲ得マセヌデゴザイマシテ、唯今第二讀會ヲ開クベシト云フコトガ可決ニナリマシタ位デゴザイマス、ドウカ直ニ議事日程ヲ變更セラレマシテ第二讀會ヲ開カレムコトヲ請ヒマス、

○子爵日野西光善君 贊成、

○子爵小笠原壽長君 贊成、

○男爵西五辻文仲君 贊成、

○柴原和君 贊成、

○小原重哉君 贊成、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 岡部子爵ヨリ議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開クベシト云フ、此動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デゴザイマス、直ニ第二讀會ヲ開キマス、期讀ヲ致サセマス、

(山本書記官朗讀)

府縣稅徵收法中左ノ通改正ス

第五條中市町村ノ下ニ「長」ノ一字ヲ加フ

(山本書記官「委員會ニ於テハ削除」ト述ブ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是レハ即チ原案ニ附イテ決ヲ採リマス、第五條中ト云フ所デゴザイマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 ナシ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 起立者ガゴザイマセヌニ依ッテ是レハ削除ニ決シマス、次ヲ朗讀致サセマス、

(山本書記官朗讀)

第八條中其領收證書ノ下ニ「ニ市町村長ノ檢印」ノ八字ヲ削ル

(山本書記官「委員會ノ修正ハ第八條第一項中其領收證書ノ下ニ「ニ市町村長ノ檢印」ノ八字ヲ削ル」ト述ブ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今讀ミマシタルハ即チ「第八條第一項中」是レダケデゴザイマス、之ニ附イテ決ヲ採リマス、委員ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、次ニ水之江浩君ヨリ修正案ガ出テ居リマスニ依ッテ之ヲ朗讀致サセマス、

(山本書記官朗讀)

同條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

「前項ノ納付期限ハ納期後三日以内トス」

(水之江浩君演壇ニ登ル)

○水之江浩君 諸君、私ガ此第八條第一項ノ次即チ現行法デハ第八條二項ノ次ニ一項ヲ加ヘマスル様ナ譯柄ニナリマスルノデゴザイマス、唯今書記官ヨリ朗讀セラレマシタル通りニ「前項納付期限ハ納期後三日以内トス」ト此一項ヲ加ヘマスノデゴザイマス、一昨日委員長岡部子爵ヨリモ御述ニナリマシテゴザイマスルガ第六期議會ニ於キマシテ國稅徵收法ノ改正ニ從ッテ矢張り府縣稅徵收法ノ改正ノ出タト申シテモ宜シト御述ニナリマシテゴザイマスガ、私モ亦國稅徵收法ノ改正ニ從ッテ此一項ヲ加ヘマスノデゴザイマス、其理由ハ誠ニ簡短ナコトデゴザイマス、譬ヘテチヨット一言申上ゲマスレバ三月三十一日ノ納期限デアリマスルニ其日ニ徵收ヲ終リ夫レヨリ納付ノ手續ヲ致シマシテ其日納付シ終ルコトハ實ニ事實上容易ニ出來マセヌコトデゴザイマス、隨分納付シマスルニ附キマシテハ準備モ入リマスル、其上市町村役場ト金庫所在地トハ隨分離レテ居リマスコトガアリマスルデ實ニ不便デアリマシテ、既ニ其不便ヲ救フタメニ國稅徵收法ハ「前項拂込期限ハ納期限後三日以内トス」ト改正ニナッテ居リマスルカラ、府縣稅モ國稅モ納付ノ手數ハ少シモ異ナルコトハアリマセヌデゴザイマス、此一項ヲ加ヘマシテ市町村ノ不便ヲ救フ考デアリマスルデゴザイマスルカラ何卒滿場ノ諸君御賛成下サラムコトヲ偏ニ希望致シマス、私ハ固ヨリ納辯デゴザイマシテ申上ゲヤウガ甚ダ拙ウゴザイマスルカラ自然御分リ兼ネニナリマスル様ナコトガゴザイマスレバ御尋ガゴザイマスレバ御答致シマス、

○子爵岡部長職君 唯今水之江君ノ御演說ニナリマシタル修正ノ御趣意ハ本員ニ於キマシテハ至極適當ナル修正ト考ヘマス、本案ハ一昨日モ申述ベマシタル通り昨年改正ニナリマシタル所ノ國稅徵收法ノ精神ニ倣ヒマシテ此修正ヲ提出ニナリマシタルコトデ、唯今水之江君ノ茲ニ追加ヲサレヤウト云フ所ノ修正ノ趣意ハ矢張り其精神ヲ全クスルモノデアラウト思ヒマス、カラシテ決シテ委員會ニ於キマシテ修正ヲシマシタル所ニ少シモ障リマスデハナクシテ別ニ加ハリマスルコトデアリマシテ、尙ホ國稅徵收法ト相合スルコトニナリマスノデアリマスルカラ至極御尤ト考ヘマス本員ハ贊成ヲ致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 念ノタメニ申シ置キマスガ、勿論水之江君ハ既ニ定規ノ贊成者ト共ニ修正ヲ發議ニナッテ居ルノデゴザイマス、サウシテ能ク御分リニナッテ居ラウトハ存ジマスガ念ノタメニ申シテ置キマスガ八條ノ第二項ノ次ニ唯今ノ文言ガ加ハルノデゴザイマスカラ、即チ此ノ所デ水之江君ノ修正ダケヲ問題ニ致シタ譯デゴザイマス、

○龍口吉良君

水之江君ノ修正說ニ最モ贊成ヲ致シマス、

○子爵立花種恭君

唯今ノ修正ハ承リマシテハゴザイマスケレドモ、些ト判然ト致シ兼ネマシタカラチヨット唯今ノ修正ノ文面ヲモウ一應承リタウゴザイマス、

○水之江浩君

修正ノ文句ガ御不分リデゴザイマスカ又其理由デゴザイマスガ、

○子爵立花種恭君

文句デゴザイマス、

○水之江浩君

文句ハ「前項ノ納付期限ハ納期後三日以内トス」ト夫レダケデゴザイマス、

○子爵岡部長職君

チヨット水之江君ニ請求ヲ致シマスルガ、ドウカ昨年改正ニナリマシタル國稅徵收法ノ……唯今御修正案ノ出マシタル所ト相對スル所ノ條文ヲ、御手許ニゴザイマスナレバチヨット御讀上ゲテ願ヒマス、

○水之江浩君

國稅徵收法ノ改正ニナリマシタルハ「前項拂込期限ハ納期限後三日以内トス」ト、違ヒマス所ハ拂込ト云フ二字ガ此案ニハ納付トナッテ居ルダケガ違ヒマス、如何ナル譯デ違フカト申シマスレバ前項ヲ受ケテ追加ヲ致シマスルカラ拂込ト納付ト是レダケノ差ガゴザイマス、其他ハ國稅徵收法ト極同一デゴザイマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

水之江君ノ修正ニ附イテ決ヲ採リマス、

○名村泰藏君

チヨット私共ハ能ク分リマセヌ、ドシナニ修正ニナルヤラ能ク分ラズニ居リマスデゴザイマスガ國稅徵收法ノ第何條ニ當リマスカ、

○水之江浩君

國稅徵收法第十二條デゴザイマス、

○名村泰藏君

分リマシタ、

(政府委員江木千之君演壇ニ登ル)

○政府委員(江木千之君) 唯今水之江君ヨリ修正説ガ出マシテゴザイマスルガ十分ニ修正ノ御趣意ノ在ル所ハ了解致シ兼ネマスルガ、併シ國稅徵收法ノ第十二條ニ倣フテ修正ヲ加ヘルト云フコトデアリマスルカラシテ修正ノ御趣意ニ附イテハ大凡想像ガ附キマスルカラ一應説ヲ述ベマス、此國稅徵收法ノ第十二條ノ例ニ倣フコト云フコトデアリマスルガ果シテ國稅徵收法ノ第十二條ノ例ニ倣フコトデアレバ府縣稅徵收法ノ第八條ノ第二項ニ附キ修正ヲ加フルト云フ如キコトハ誠ニ了解致シ兼ネマスル、ト申シマスルモノハ第八條ノ第一項ハ徵稅傳令書ヲ受ケタル納稅人又ハ徵稅令書ヲ受ケタル市ノ各納稅人ハ市町村ノ收入役ニ稅金ヲ納付スルノデゴザイマスル、各個ノ納稅人ガ市町村ノ收入役ニ稅ヲ持ッテ參ルノデ、稅ヲ納メニ參ルノデアリマスル、夫レヘ持ッテ行ッテ三日以内ニ納メタルト云フ期限ヲ附スル必要ハ何モナイノデゴザイマス、徵稅令書ナリ徵稅傳令書ニハ必ズ納稅スル期日ガ定メテアリマスル、何月何日限リ納付スベシト云フコトハ、ドノ徵稅令書デモ徵稅傳令書デモ皆掲ゲテアリマス、其期限ニ納メサヘスレバ宜シ、法律ヲ以テ其期限ヲ定メル必要ハアリマセヌ、然ルニ國稅徵收法ノ第十二條ハ何故斯様ナル改正ガアツタカト申シマスルト是レハ全ク場合ガ違フノデアリマス、市町村ガ取集メタル金ヲ市町村ガ國庫ニ納メル期限ガナイカラ、其期限ハ三日以内デアルト定メタルデアアル、決シテ各個ノ納稅人ガ出納官吏收入役ニ稅ヲ持ッテ行ク期限ヲ定メタルデアハゴザイマセヌ、夫レデ唯今ノ修正ヲナサルナラバ第八條ノ第二項ノ次ニ入レテ市町村ガ府縣ノ出納官吏ニ納付スルコト云フ場合ヲ規定ニナルノナラ是レハ別段ノコトデアリマスルガ第八條ノ第一項ノ次ニ御加ニナルト云フコトハ甚ダ了解致シ兼ネマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 政府委員ニ御注意シマスガ誤解デハナイカト思ヒマス第二項ノ次ハ一項ヲ加ヘルノデゴザイマス、

○政府委員(江木千之君) 私ハ第一項ト聽取リマシタノデゴザイマス、然ラバ夫レニ附イテ一應第二項ト見テ意見ヲ述ベマスルガ、徵收シタル稅金ヲ三日以内ニ市町村ガ府縣ヘ納付スルコト云フコトニナリマシテモ府縣稅ノ方デハ甚ダ差支ヘルデアラウト思ヒマス、府縣稅ノ方ニナリマスル稅金ニ種々ノ稅ガアリマスノデ、何月或ハ前納ニ係ルモノガアリ、其外日稅ヲ隨時徵收スルモノモアリマスシ種々ナリ稅ガアリマス、夫レヲドウモ稅ヲ徵收スルニモ色々遲速ガアル、夫レデ一概ニ三日以内ニ納付スルコト云フガ如キコトハ甚ダ窮屈ニ失スルデアラウト考ヘマス、是レ等ハドウカ此地方稅府縣稅ノ事ニ附キマシテ餘リ窮屈ニ失セズシテ成ルベク地方ノ便利ヲ與ヘル様ニ致シタイト考ヘマス、夫レデ態々斯ノ如キ修正ヲ加ヘルニハ及ブマイト考ヘマスルカラ、

此事ヲ申上ゲテ置キマス、

○水之江浩君 政府委員ニ御尋フ致シマス、地方稅府縣稅、斯ノ如キモノハ期限ガゴザイマス、三月ナラ三月三十一日限リトシテゴザイマス、三月始メ(聽取レス)……徵收シ終リマス、其中ニ直グニ又出納吏ニ納付セネバナリマセヌ、甚ダ不便ナコトガ多イ、却ッテ此改正シマシタル方ガ餘程便利ヲ計ルタメニ私ハ提出致シマシタル「市町村ハ其徵收シタル稅金ヲ府縣出納吏ニ納付シ其領收證書ヲ得テ義務ヲ了ルモノトス」トアリマス、夫レハ期限ガゴザイマシテ此期限中ニ納メネバナリマセヌ、金庫ニ納メネバナラヌ、人民カラ徵收スルノモ其日デゴザイマス、其日徵收シ其日金庫ニ納メル様ニナッテ居リマス、即チ國稅モ同様デゴザイマス、併ナガラ政府委員デハ地方稅ハ國稅ハ期限ガアツテモ期限ニ納付スルノヲ納付セシデモ宜シイト云フ考デゴザイマス

○政府委員(江木千之君) 御質問デゴザイマス、

○水之江浩君 チョット申上ゲマス、前ノハ私ハ半バ御答ヲ申シマシテ半バ質問デゴザイマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 質問デナケレバ往ケマセヌ、

○水之江浩君 夫レナラ質問デス、

○政府委員(江木千之君) 納期後三日以内ト云フコトハ差支ヘルト考ヘマス、納期後ト云フコトハゴザイマス、前項ノ納付期限ハ納期後三日以内トス「ト云フコトガ府縣稅ニ付テハ差支ヘルト考ヘマス、日稅モゴザイマセウシ種々ノ稅ガゴザイマス、夫レヲ三日以内ニ……納期後三日以内ニトシマシテモ納期ノナイモノモアルシ、納期ガナイト云フ譯デハゴザイマセヌガ隨時徵收ノ如キハ納期ハ區々ニナッテ居ル、夫レヲ悉ク三日以内ニ納付スルコト云フガ如キハ實ニ窮屈ニ失スルト考ヘマス、

○水之江浩君 私ガ些ト了解シ兼ネマスガ期限ガ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 質問デスカ、

○水之江浩君 左様デス、其期限ニ丁度三十日ナラ三十日ノ期限ニ徵收シ終リマシテ、サウシテ其翌月ノ三日マデノ間ニ市町村カラ金庫ヘ納付スレバ宜イト云フ私ハ考デゴザイマス、併ナガラ夫レヲ三十日ナラ三十日ノ期限ニ徵收ヲ致シマシタルモノヲ、例ヘバ五日マデモ七日マデモ猶豫シテモ宜シイト云フ様ナ御考デゴザイマス、丁度國稅ノ様ニキツカリト徵收ガ出來ナイカラ地方稅ノ方ハ國稅ノ様ニシナイカモ知レヌト云フ御考デゴザイマス、

○政府委員(江木千之君) 左様デゴザイマス、國稅ノ様ニキツカリ極メル譯ニ參リマセヌ、或ハ日稅ノ如キハ相撲ノ興行ガアル、芝居ノ興行ガアル、サウ云フモノニ日稅ヲ賦課シマスル、サウ云フ場合ニ納期ハ夫レハ概略極メ

モ致シマセウガ、其納期が極ッテ居ル度毎ニ府縣ノ出納吏ニ三日以内ニ之ヲ納メロ杯ト云フコトハ窮屈ニ失シテ行レ難イト申スノデアリマス、

○瀧口吉良君 ちヨット政府委員へ御尋ヲ致シマスルガ、唯今ノ政府委員ノ御辯明ニ依リマスルト納期後ニ三日以内ニ納付スルト云フコトハ差支デアルト云フコトデアリマスルガ、サウシマスルト現行法ノ通りデアレバ納期ガ例ヘバ三月三十一日限リトアルトキニ其納期ト云フモノハ人民カラ市町村ヘ出ス納税ト云フダケノ納期デアリマスルカ、或ハ此納期ト云フモノハ府縣ニ納マル所ノ納期ヲ指スノデアリマスルカ、其邊ガ若シモ府縣ヘ納付スル期日デアリマスレバ例ヘバ納期ガ三月三十一日トアレバ、市町村デ徵收スルノハ三月二十六日トカ二十七日トカ云フ様ニ其期限ノ以内ニ期限ヲ定メテ町村ニ於テ徵收シナケレバナラヌト云フ様ナコトニナラウト考ヘマスルガ、ちヨット其邊ヲ御尋申シマス、

○政府委員(江木千之君) 納期ト申シマスルノハ各納税人ガ納込ム日ヲ指シタモノデアラウト考ヘマス、

○瀧口吉良君 各納税人ガ町村役場ニ納付スル期限デアリマスルカ、

○政府委員(江木千之君) サウデアリマス、

○瀧口吉良君 了解致シマシタ、

(「決々」ト呼ブ者アリ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 最早大抵決ヲ採ル時期カト存ジマスガ、別ニ御發議ガゴザイマセネバ採決シマス、水之江君ノ修正ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 少數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 少數デゴザイマス、夫レカラ次ヲ朗讀致サセマス、

(山本書記官朗讀)

(特別委員修正案)

同條第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

市町村長ハ納期限ヲ過キ税金ヲ完納セサル者アルトキハ其滞納ノ税目金額及滞納人ノ住所氏名ヲ記載シ之ヲ府縣出納吏ニ報告スヘシ

(原案)

第九條中「身代限ノ處分ヲ受クルトキ」ノ十二字ヲ削リ「強制執行ヲ受ケ又ハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ」ノ二十一字ヲ加フ

(山本書記官「委員會ノ修正ハ第九條中「身代限ノ處分ヲ受クルトキ」ヲ「強制執行ヲ受ケ又ハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキニ改ム」ト修正ス」ト述ブ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 別ニ御發議ハゴザイマセヌカ、別ニ御發議ガナケレバ唯今朗讀ニナリマシタル分ノ決ヲ取リマス、委員ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デゴザイマス、

(山本書記官朗讀)

第十一條ニ左ノ一項ヲ加フ

本條ハ此法律施行以前ニ係ル府縣稅期滿免除ニモ適用ス

(山本書記官「委員會ハ削除」ト述ブ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是レハ即チ委員會デハ削除ニナッテ居リマスカラ原案ニ付テ決ヲ採リマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者ナシ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 起立者ガゴザイマセヌニ依ッテ即チ削除ニナリマシタ、

(山本書記官朗讀)

(特別委員修正案)

第十五條ニ左ノ但書ヲ加フ

但第十一條ノ規定ハ此ノ法律施行以前ノ徵稅ニモ適用ス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今朗讀ニナリマシタル委員ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デゴザイマス、

○子爵岡部長職君 議事日程ヲ變更シテ直ニ三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス、

○小原重哉君 贊成、

○南鄉茂光君 贊成、

○伯爵冷泉爲紀君 贊成、

○柴原和君 贊成、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 議事日程ヲ變更シテ直ニ三讀會ヲ開クト云フ岡部子爵ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デゴザイマス、議事日程變更直ニ第三讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略致シマス、原案ハ即チ第二讀會ノ決議案デゴザイマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、本案ハ可決セラレマシタ、

○山川浩君 本員ハ緊急動議ヲ提出致シマス、二十五年年度ノ決算報告ガマ

ダ委員ヨリアリマセヌガ最早日數ハ僅ニ四日カ五日ホカアリマセヌ、夫レニ二十五年度ノ決算ト云フモノハ、随分ニ議論モ澤山アラウト考ヘマスカラ、依ッテ本院規則ノ四十條ニ依ッテ期限ヲ……報告ノ期限ヲ極メタイト思ヒマス、期限ハ明日中ト致シタウゴザイマスケレドモ夫レデハ或ハ火急カモ知レマセヌカラ、二十日ノ正午マデニ報告ヲ得マス様ニ致シタイト思ヒマス、且又今日マデ報告ニナリマセヌノハ決シテ決算委員ガ怠慢ニ付シテ居ラレタ譯デハアリマスマイガ、ドウカ其經過ヲ今案作君モ御出席ニナッテ居リマスカラ承リタウゴザイマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今ノ期限ヲ極メルト云フコトハマダ議事日程ガ後トニアルノニ此間ニ挟ムノデゴザイマスガ、即チ期限ヲ定メルト云フコトヲ爰デ議事日程ヲ變更シテ議スルノデゴザイマスガ、夫レニ別段御異議ハゴザイマセヌカ、

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 御異議ガゴザイマセネバ即チ唯今山川君ノ申サレタコトニ附イテ議シマス、

○箕作麟祥君 唯今山川君カラ決算委員ノ模様ヲ言ヘト云フコトデゴザイマスカラ即チ夫レダケ御答致シマスガ、御承知ノ通り當年ノ議會即チ此第八議會ニハ明治二十四年度ノ決算ト明治二十五年年度ノ決算ト此二ツノ決算ヲ調査シナケレバナラヌコトデゴザイマス、所デ明治二十四年度ノ決算ニ就キマシテハ一月十四日ト二月ノ二日ト、此時ハ私ハマダ委員デモナシ、委員長デモナカッタ、即チ前ニ二回委員會ヲ開キマシタ、所デ私ガ委員長ニナリマシテカラ二月二十二日ニ更ニ決算委員會ヲ開キマシタ、夫レカラ尙ホ調査ガ十分デアリマセヌカッタカラ一月二十七日ト二月四日ト詰リ二十四年度ニ對シマシテハ前後デ五回ノ決算委員會ヲ開キマシタ、大層數ガ多イ様デゴザイマスガ、此會ノ中ニハ誠ニ時間ノ僅ナ會モアラッタノデゴザイマスガ、始メデデアリマスカラ随分鄭重ニ審査ヲシマシタカラ斯ノ如ク五遍モ開キマシタ、所デ三月四日ニ議長ニ報告致シマシタ、夫レガ去ヌル當月ノ十一日ノ議事ニ上ホリマシテ即チ御承知ノ通り結果ハ色々ニナッタ、然ル處ガ其報告ヲ致ス少シ前ニ二十五年年度ノ決算ガ參ッタ、ドウモ二ツ、二十四年ガ片付カナイ中ニ二十五年年度ヲ一緒ニシマス混合シマスカラ、二十四年度ヲ片付カセマシテ二十

五年度ノ分ハ三月ノ十一日マデニ各科ノ主査カラ委員長マデ報告ニナル様ニト云フコトニ致シテ置キマシタ、所ガ其或ル科ノ中デハ餘程込入ッタ事ガアルカラ少シ猶豫シテ吳レト請求ガアリマシタカラ一日延バシマシテ三月十二日ニ各科ノ主査カラ委員長ノ手許ニ主査ヨリ報道ニナッテ居リマス、夫レニ就キマシテ十二日ニ開ケヌカラ一日置キマシテ三月ノ十四日ノ日ニ決算委員ハ此日ニ始メテ掛リマシタ、所ガ此節モ午前ノ十時カラ開キマシテ午後マデモヤル積リデアリマシタガ午後二ハ已ムヲ得ヌ事ガ段々アツタ様デ引ケル者ガアリマシテ十二時マデヤリマシタ、併シ大分調査ノ掛ハ往キマシタ、所ガ夫レカラ一日置キマシテ三月十六日ニ第二ノ決算委員會ヲ開キマシタ、所ガ此日ハ病氣差支等デ半数ニ滿チマセヌノデ、夫レデ半数ニ滿チマセヌカラドウシテモ本當ニ委員會ヲ開ク譯ニハ往キマセヌガ、併シ半数近クノ委員ガ集ッテ折角集ッタコトデアアルカラ此儘散會スルコトハ本意ナイト思ヒマシテ相談會ヲ開キマシテ政府委員等ニ質問ヲ致シマシタ、夫レガ三月十六日デス、三月十八日ニ尙ホ開キタイト思ッテ今日モ午前十時カラ決算委員會ヲ開キマセウト思ヒマシタガ、一昨日ト同様或ハ病氣或ハ差支等デ矢張り半数ニ滿タナイ、夫レデ致方ガアリマセヌカラ御承知ノ通り午前二私ガ委員長デアリマスカラ退席ヲ願ッテ委員會ヲ開キタイト思ヒマシタガ、幾ラ待ッテモ定足數ニ滿タナイ、今日モ委員會ヲ開クコトガ出來マセヌ次第デゴザイマス、斯ノ如キ次第デゴザイマスカラ決シテ委員ノ怠慢デモアリマセズ、隨分委員長ハ餘程骨ヲ折ッタ積リデアリマスガ、今日マデ報道ガ出來ヌノハ差支或ハ病等デアラレナイノハ已ムヲ得ヌコトデアリマス、併シモウ一回開イタナラ忽チ御報道ガ出來ヤウト思ヒマスカラ、唯今ノ山川君カラノ期限ヲ設クルコトハ反對ノ方デハゴザイマセヌ、無論贊成シテ宜シイ、ドウカ明後日所デハゴザイマセヌ、今朝デモ委員會ガ開ケマスレバ今日デモ報道ガ出來タノデアリマスガ、明後日マデ御猶豫下サレバ時ハ有リ餘ルト思ヒマス、斯ノ如キ模様デアリマス、

○男爵伊達宗敦君 山川君ニ贊成シマス、尙ホ決算委員長ニ何卒是レマデハ御病氣等其他差支ガアツテ御集ニナラナカッタコトハ已ムヲ得ヌコトデアリマスガ、唯今山川君カラノ御説ガ問題ニナリマシタカラ精々委員諸君ニモ豫メ御出席ニナル様ニ御勸ニナル様ニ願ヒマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 山川君ヨリ二十五年年度ノ決算ノ審査期限ヲ附スル、明後日ノ正午マデト云フ即チ二十日ノ正午マデト云フコトニシタイト云フコトデアリマス、贊成ガゴザンスニ依ッテ決ヲ採リマス、此動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デゴザイマス、依ッテ期限ガ明後二十日ノ正午マデト極マリマシタ、堺表殉難舊土佐藩士ヲ靖國神社ニ合祭ノ請願會議ヲ開キマス、朗讀ハ省略シマス、

(左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經ザルモ 參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ)

意見書案

堺表殉難舊土佐藩士ヲ靖國神社ニ合祭ノ件

高知縣高知市士族土居盛義外十六名呈出

右ノ請願ハ明治元年二月泉州堺警衛中佛國水兵ノ亂暴無禮ヲ制スルカ爲メ之ヲ殺害シタルノ故ヲ以テ死ヲ賜ハリタル舊土佐藩士十一名ノ舉動ハ全ク愛國忠誠ノ餘ニ發スルモノニシテ當時ノ事情ヲ審ニスルニ土佐藩兵初ヨリ暴撃ニ意アルニ非ス只佛兵ノ暴慢ナル其ノ職守上止ムヲ得サルニ出デタルナリ而シテ十一名ノ安シテ死ニ就キシハ君國ノ爲メニ禍亂ヲ遏ムルモノニシテ其ノ心情誠ニ憐ムヘシ今ヤ文明ノ德澤優渥ニシテ苟モ心ヲ王室ニ存シ意ヲ國家ニ傾クル者ハ其ノ事ノ粗暴過激ニ涉ルモノト雖猶且位階ヲ賜ヒ靖國神社ニ祀ラル誰カ 聖恩ノ鴻大無邊ナルニ感セサルモノアラシヤ獨リ堺事件ニ殉セシ十一名ノ未タ德澤ヲ蒙ラサルハ實ニ不幸ト謂フヘシ故ニ當時ノ事情ヲ憐察シ十一名ヲ靖國神社ニ合祭シ其ノ靈ヲシテ永ク 聖恩ヲ享ケシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治二十八年三月 日

貴族院議長侯爵 蜂須賀茂韶

内閣總理大臣伯爵伊藤博文殿

○公爵徳川家達君 此意見書案ニ聊カ正誤ガゴザイマスカラ、正誤ヲ加ヘタウゴザイマス、右ノ請願ハ明治元年二月泉州堺警衛中佛國ト云フ「佛」ノ字ヲ改メマシテ「外國水兵」云々トナリマス、夫レカラ三行目ノ當時ノ事情ヲ審ニスルニ土佐藩兵初ヨリ暴撃ニ意アルニ非ズ只佛兵ノ云々ト云フ此「佛」ノ字ハ矢張り「外」ノ字ニ正誤致シマス、此請願書ハ意見書案ニ記載シテゴザイマス通り請願委員會ニ於キマシテハ採擇ト議決ニナリマシタ、故ニ其決議ニ御賛同アラムコトヲ希望致シマス、此請願書ノ紹介議員谷子爵ヨリ委シク御陳述ニ相成ルト云フコトデゴザイマス、

(子爵谷干城君演壇ニ登ル)

○子爵谷干城君 此請願ニ於キマシテハ今日俄ニ始ッタコトデハアリマセヌ、疾ウヨリシテ請願ヲ宮内省ノ方ニ向ケテ出シテ居リマス、又縣令ヨリシ

テ内務省ノ方ヘモ向ケテ出シタコトガゴザイマス、然ルニ不幸ニシテ始終其事情ガ詳ナラヌガタメニ今日マデ其儘ニナツテ居ルノデアリマス、デ此事情ニ於キマレテハ私杯モ丁度此事蹟ノアツタ時分ニハ御一新ノ戰爭ノタメニ江戸ノ方ニ向ヒテ居ッタ跡デアリマスカラ實際ノ事ヲ目撃シタデハナイ、述ヨリ段々取調ベテ見マスルト如何ニモ是レハ國家ノタメニ死シタモノニ相違ナイト云フコトヲ認メル……如何デスカ是レハ人ガ少イ様デゴザイマスガ明日ニ讓リマシテモ、緩ククリヤリタイト思ヒマスガ、ドウデス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

唯今調ベテ見マセウ……大抵宜シウゴザイマス、

○子爵谷干城君 宜シウゴザイマスカ、甚ダ御氣ノ毒ノ様デガスガ、ドウゾ暫時一ツ此事情ダケヲ御聽キヲ願ヒタイ、デ決シテ私ニ暴舉シテ腹ヲ切ラサレタト云フ譯デハナイ、眞ニ國家ノタメニ腹ヲ切ッタノデアル、其事情ヲ一ツ述ベタイト思フ、デコリヤ御承知ニモナツテ居リマセウガ、御一新ノ年二月ニ所謂堺事件ト唱ヘテ喧マシイ事柄デアッタノデアアル、デ此時ノ事情ト云フモノハ諸君モ御承知デアリマセウ、又御承知デナイ方ガ或ハアルカモ知レマセヌガ、詰リ此舊幕ノ方ヲ助ケヤウト云フ外國人ト、此朝廷ノ方ヲ助ケヤウト云フ外國人ト二種ニ分レタ、ソコデ此幕府ノ方ヲ助ケヤウトシ現ニ士官杯ヲ發シテ助ケタ事柄モ現ニ御承知デアラウト思フ、夫レデ一方ノ幕府ノ方ヲ助ケヤウトシタ方ハ何ガナ此御一新ノ國難ニ際シテ京都ノ方ヘムツカシイコトヲ吹掛ケテ事ニ託シテ端ヲ開カウト云フ事柄ト云フモノハ如何ニモドウモ其當時ノ有様ニ於テ辭スベカラザル證據ガアルノデ、ソコデ其事ハ即チ或ル國デ是レハ御承知デアリマセウカラ言ヒマセヌ、或ル國ニ於テハ此騷擾ノ際ニ海軍ノ兵ヲ大阪ヲ經テサウシテ其地形ヲ巡見スルト云フノデ堺ヘ回シテ彼所ヲ通行ヲサセイト云フノデ朝廷ノ方ノ役人ガ一人附添ウテ、サウシテ大阪ノ方カラ大和川ノ橋、彼所マデ來タデス、其時ニ即チ土佐ノ兵隊ト云フモノガ泉州堺ノ固メヲ朝廷カラ仰セ付ケラレテ居ッタ、ソコデ其時分ハ御承知ノ通り攘夷ト云フ論ノ盛ニニアッタ時デ未ダ其攘夷ト云フコトノ御取消シ、止マッタト云フコトハナカッタ、デ何シロ堺ヲ固メイト云フ朝廷ノ命デ固メテ居ル、夫レヘ以テ行デカラニ猥ニ外國ノ人ガ來ベキ所デナイモノヘ即チ大和川ヘズーット押掛ケテ來タモノデスカラ、彼ノ所ニ居ッタ兵隊ガ決シテ夫レハ通スコトハ出來ヌト云フ止メタ、止メタ所ガ朝廷ノ方カラモ土佐ノ兵隊ノ方ヘ御沙汰ナシニ唯向フヲ案内シテ來タモノデスカラ是レハ成ル程手順ガ足ラザッタト云フ斯ウ云フ譯デア向フカラ連レテ來タ兵隊ニ其譯ヲ言ッテアトヘ歸シタ誠ニ穩ニ歸ッタ、成ル程サウ云フ譯ナラバ一旦沙汰ヲシテ置カナケレバ通譯ニハ往カヌト云フノデ陸カラ來タ方ノ側ハ誠ニ穩便ニ歸ッタ所ガ、ソコ

ハ所謂手筈ガ違フテ船ノ方カラハ堺ノ方ヘ人數ガ來ルカラ堺デ又船ニ乗ルカラ待チ居レ陸カラ來タノガヲ堺港カラシテ乗セテ是レカラ本船ヘ行カウト云フ斯ウ云フ約束デアッタモノト見エル、ソコデ其船ノ方ハ陸ノガ歸ッタト云フコトヲ知ラズズーット上ッテ來タ、デ上ッテ來テ又土佐ノ兵隊ガ守ッテ此所ハ猥ニ外國人ノ來ベキ所デナイト云フ様ナコトニハ無頓著デズーット水兵ガ上ッテ來タ、所デ其土佐ノ方ノ兵隊ハ今ノ通り此大和橋ノ方ヘ出テアスコデ應接ヲシテ歸シタカラソコデ先ヅ安心ト云フノデ一旦營ノ方ヘ引取ッタ所ヘ以テ船ノ方カラハ外國人ガ上ッテ來タト云フモノダカラシテ大ニ市中ノ者ガ驚イテ外人ガ來テ亂暴シマスカラドウカシテ是レハ片時モ取鎮メテ呉レト斯ウ云フコトヲ訴ヘテ來タノデ、所デ此兵隊ニ於テハ即チソコナ取締ヲ朝廷ヨリ命ゼラレテ居ル所ノ職掌デアリマスカラ取敢ヘズ出張シタ、出張シテ見タ所ガ果シテソチコチ横行シテ居ル、或ハソコナ店屋ヘ靴ノ儘デ上ッテ來タトカ爰ナ寺ニ土足デ上ッテ來マシタト云フ様ナ訴ガ起ッテ、今日デ言ヘバ西洋人ガ靴ヲ穿イテ上ッテ來ルモ怪シミマセヌケレドモ、其時分ハ未ダ曾テ外國人ノ來タコトモナシ、又來ベキデナイ所ヘヤッテ來タモノダガラ、土地ノ者ハ非常ニ驚イテ亂暴狼籍スルト言ウテ訴ヘテ來タ、直ニ行ッテ取押ヘヤウト掛ッタ所ガ中ニ向フハ今申ス様ナ理窟デ何ガナ事ガアレバ引ツカケヤウト云フ精神デ軍艦モ來テ居ルモノデアリマスカラ容易ニ其僅ノ兵隊杯ガ理窟ヲ言ッタ所ガ取押ヘルコトガ出來ナイ、ソコデサア其ソチコチ混雜ヲシ居ル内ニ今言ヘバ聯隊旗見タ様ナモノデアリマスガ彼ノ時分ハ大隊ニ一ツツ、其細イ是レバカリノ旗ガアッテ夫レカラ其嚮導旗ト唱ヘテ一小隊ニ一ツツ、其旗ヲ持ッテ居ッタ其旗ヲ取ッテ逃ゲラレタ、夫レガ其詰リ已ミヲ得ズ砲撃セニヤナラヌト云フコトニナッテ來タ所以デアル、ソコデサウ向フモ、モウ叶ハヌト云フ様ナ理窟ニナッタモノデアルカラ其旗ヲ取ッテ逃ゲ、ばつてーちニ乗り移ルト云フ所デ夫レヲ取ッテ逃ゲラレタカラ、所謂固メヲ命ゼラレテ居ル職掌ガ立タヌト云フノデ砲撃ヲシタノデス、デ固ヨリ是レハ原告ト被告ノ間ノ事柄デアリマスカラ夫レハ向フニモ色々理窟ガアリマセウガ、大體堺市民カラシテ亂暴スルカラ取鎮メテ呉レト云フコトヲ言ッテ來タカラヤッタノデ私ニ暴舉シタ譯デアナイ、訴ニ應ジタモノ、其行ッテ居ル兵隊ト云フモノハ朝廷ノ命令デ即チアスコヲ固メテ居ル譯デアルカラシテ、單ニ日本人ヲ即チ幕府ノ兵ヲ防グノミナラズ外國人デアラウガ誰レデアラウガ其所ヲ守ッテ居ル所ノ地方ヘ來テ亂暴ヲスレバ夫レヲ防グハ即チ彼等ノ職掌デアル、今モ申シタ通り未ダ其攘夷ナゾト云フコトノ御取消ニナッテ居ラヌガ唯外國事務總裁ト云ヒマシムカ其時分ニ一ツノ外務省見タイナモノモ假定メラレ神戸ノ方ヘハ外國人ノ來ルコトハ夫レハ許サレテ居ッタノデ、ケレドモ此田舎ノ侍ナゾト云フモノハ

中々其時分ニ此斯ウ云フ事情デアル、サウ云フ事情デアルカラ撃ツコトモナ
ラヌ、無理ナ取扱ハセラレヌト云フ様ナコトハ説得ノ出来ヤウ咎モナシ、又サ
ウ云フコトヲセラル、時機デモナカッタ、詰リ雙方カラノ今言フ通り行違デ大
和川ノ方ハ歸ツタガ、ソコナ向フノガモ來テ見タ所ガ居ラザツタカラ斯ウ云フ
譯ヂヤト云ヘバ直ニ歸リサヘシタラ宜カッタラウガ歸ラズシテ、ソツチコツチ
歩き居ルウチ混雜ヲ起シタト斯ウ云フ理窟デ上ツテ來タ夫レハ又夫レトシタ
所デ是レガナゼ國ノタメニ死ンダカト云フコトニ就イテ御疑ガアラウト思フ
ガ、サテ是レハ今ノ通り此兵隊ト云フモノハ朝廷ノ命ヲ奉ジテ不都合ガアレ
バ夫レヲ取締リ、稱ハヌニハ撃ツト云フ即チ兵器ヲ持ッテソコヲ守ッテ居ルモ
ノデ、夫レヘ以テ今ノ通り訴ガ來タモノデ行ッテ取押ニ掛ツタ所ガ出來ナイ、詰
リ旗ヲ取ッテ逃グラレタト云フカラシテハ砲撃セニヤナラヌト云フコトニナッ
タ、夫レデ理窟カラ云ヘバ彼等ハ十分理窟ガアル、我々ハ是レダケノ命ヲ承ケ
テ來テサウシテ訴ニ依ッテ來テ取押ヘヤウトシタ所ガ出來ナイ、夫レカラ已
ミヲ得ズ斯様ナコトニナツタト云フノデ理窟ガ十分アル、所ガ奈何セム此時ハ
内ニ對シテハ舊幕府ト戰爭ヲ開キ、未ダ其結局ドウナルカ分ラヌト云フ事柄
デドノ兵モ皆箱根ヲ越エヌ時デアル、夫レヘ以テカラニ假令理窟ガアルニシ
テモ外國ト事ヲ釀シテハ實ニ國家ノタメニナラヌカラ、ドウシテモ是レハ一
歩モ二歩モ讓ッテカラニ穩ニセニヤナラヌト云フガ即チ其時分ノ朝廷ノ御趣意
デ、ソコデ山内ニモ十分是レニ議論ハアツタケレドモ免モ角モ今日ハ國ノタメ
ニ彼ヲシテ割腹セシムルニ若クハナイ、此所ガ即チ朝廷ノ命令ヲ重シシ國家
ノ安危ヲ此所デ一ツ繫クヨリ外仕方ガナイト云フノデ彼等ニ割腹ヲ命ズルニ
モ是レハ國ノタメデアルカラ死ネト、此事柄ガ非デアルカラト云フ譯デハナ
イ、今日斯ウ云フ事情デアル、斯ウ云フ譯デアルカラ國ノタメニ死ネト云フ
コトヲ命令シテ、如何ニモ國家ノ御爲メト云フナラバ少シモ辭シマセヌケ
レドモ外國人ノタメニ死ヌルト云フコトハ出來マセヌ、國ノタメナラ死ニ
マセウト云フノデ承服シタ、ソコデ其前ニ方ツテ隊長ハ是レハ私が命令シ
マシタ、免モ角モ私が命令ヲシマシタモノデアリマスカラ兩人ノ隊長即チ箕
浦猪之吉、西村佐平次ト云フ兩人ガ決シテ卒ニ憂ヲ遺スベキデナイ、我レ兩
人ガ引受ケテ割腹シマスカラト云フコトヲ言出タ、言出タケレドモドウ云フ
理窟デアッタカ夫レガ即チ我々最モ其意ヲ得ヌ所デアリマスガ免モ角モ此方
ノ殺サレタダケノ者ヲ殺サニヤナラヌト云フ様ナ理窟カラシテ詰リ其人數ハ十
七人デアリマシタガ隊長ヲ除ケテ十七人、其上隊長ガ二人、夫レダケノ者
ハ皆死刑ニ處サニヤナラヌト斯ウ云フ事柄デ夫レヲ、夫レデ詰リ事情已ミヲ
得ヌヨリシテ朝廷ニモ之ヲ御承諾ニナツデカラア、云フ處分ニナツタノデア
リマス、今日カラ考ヘテ見ルト隨分苛酷ナ請求、又苛酷ナ處分デアッタ、所デ

爰ニ又一ツノ怪シムベキハサア約束通りニ腹ヲ切レト云フコトニナツテ十一人マデ切ツタ所デ、夫レハ皆立派ニ切ツタノデ、十一人マデ切ツタ所ガ、ドウシテモ立合ニ來タ所ノ外國人ガ見レニ堪ヘナイ、立派ニズンズンヤツテ往クモノデスカラ、ソコデ向フヨリ如何ニモ是レハ氣ノ毒ナ事ヂヤト斯ウ悟ツタト見エテ、ドウカモウ是レデヨシテ一ツ免除シテ呉レト云フコトヲ絶ッテ言出シタ、ソコデドウ云フ理窟カ竟ニ朝廷ニモ夫レデ止メテ仕舞ツタノデス、是レガ若シ罪ガアツテ刑ニ當ルト云フナラバ十人ガ二十人ニモ是レハ腹ヲ切ラズガ當リ前ナノデアリマスガ、サウ云フ譯デハナイ、實ニ可愛サウデハアルケレドモ國ノタメニ死シデ貫ハニヤナラヌト云フ理窟デ據ナク處分ニナツタモノデアリマスルカラ、サア其外國人ガ良心ニ立戻ッテ誠ニ是レハ苛酷ナ話デ斯ウ云フ殘忍ナ事ハト云フコトヲ悟ッテ見ルト一日モ一刻モ其座ニ居ラレヌト言ツテ向フカラ斷リヲシテヨシテ呉レト云フコトデアッタ、ソコデ即チ立合ノ檢視ヲ始メ朝廷ノ役人ガ皆其時ノ刑ヲ止メテ赦シタノデアル、所ガ其中十二人目ノ者ハ既ニ切腹ヲスル所ヘ出テ來タ、出テ來テカラ止メヨト云フカラドウ云フ事デ止メルノカト云ウテ聞イテ見タ、所ガ是レハ外國人ノ請求ニ依ッテ止メルト言ツタ所ガオレハ國家ノタメニ死ネト云フコトデアルカラ國家ノタメナラバ死ナウト云フノデアアル、夫レヲ外國人ノ請求ニ依ッテ命ヲ助ケラレト云フノハ殘念ナコトダト云ウテドウシテモ承知シナイ、無理ニ連レテ來タ所ガ終ニ舌ヲ食切ツテ殆ド死ニ至ル程ノコトデアッタ所ガ幸ニシテ夫レハ命ヲ助ツタガサウ云フ様ナ景況デアッタ、是レハ能ク御考下サレバ分リマシガ、若シ是レガ普通ノ時デ其中ヘ大キナ戰爭ヲオツ始メルト云フコトニナツテ居ラナカッタナラバ決シテ高知藩ガ承知ハシマセヌ、夫レハ朝廷ノ命令ヲ以テ此通り守ツテ居ツテ、サウシテ土地ノ者ヨリ斯ノ如キ訴ヲ起シテ之ニ由ツテ即チ斯ウ云フ處分ヲシタノデアリマスカラ、決シテ腹ヲ切ラスコトハ出來マセヌト云ツテアノ時ハ突ッ張ルノデアルケレドモ、今中ス様ナ譯合ノ時デアリマシタカラ實ニ泣イデ腹ヲ切ラシタ、又彼等モ國ノタメニ死ヌルト云フコトデアッタモノデスカラ悦ンデ死ンダ、死遺ツタ者ハ死ンダ者ニ濟マナイト云ウテ實ニ涙ヲ翻シタ、其中ニハ今言フ通り自殺マデ圖ツタ者モアリマス、此願主ニナツテ居ル土居盛義ト云フ者ハ即チ其時ノ死遺リノ一人デアアル、夫レデ誠ニ國家ニ大キナ……之ヲ若シ死ナヌト云フコトニナツテ爭ヲ起シタトキニハドウ云フ變ニナラウヤラモ知レヌト云フノデ藩主ノ説諭、即チ國ノタメニ死ネト云フコトヲ命ゼラレテ悦ンデ國ノタメニ死ンダノデアアル、決シテ普通此罪人杯ト云フモノト同一視スベキモノデハナイ、ノミナラズ其他或ハ御殿山デ殺サレ或ハ東禪寺デ死ンダト云フ様ナ者マデモ、是レハ後ニハ立派ナ者ニナツテ居ル、聞ク所ニ據レバ是レモ招魂社ニ這入ッテ居ル者モアルト云

フコトデアアル、サウ云フ者トハ種類ガ大變違ッテ眞ニ是レハ國家ガ、之ガタメニ難ヲ起スカ起サヌカト云フ所ヲ濟ウタ所ノモノト私杯ハ信ズル、然ラバ今日ニ至ツテハ是レ等ノ者ハ招魂社ニ合祀ヲ仰付ケラレタ所ガ先キヘ行テ居ル所ノ神ミガ決シテ不都合ナ者ガ來タトハ思フマイト思フ、實ニ御前等ハ氣ノ毒ナ事デアッタ、尤ナ事デアアル、何故早く來ザツタカト斯ウ云フデアラウ、又他ノ或ル外國人ハ總テ其國ト云フモノハ義俠國、人ノ義ト云フコトニハ感ジル國柄デアアル、ソコデ此事ハ一時ノ行違ヨリア、云フ苛酷ナ處置ハシタケレドモモウ其後ニ至ツテハ實ニ氣ノ毒ニ堪ヘナイ、又惡ルク言ヘバ一時ノ急デ事情殺スベカラザルモノヲ殺サシタ、失策ト言ハネバナラヌ、失策デアルカラ自ラ臨ンデ居ツタモノガドウカヨシテ呉レト云フ斯ウ云フコトガアッタ、其義俠國民タル人ガ今日之ヲ見タラドウデアラウカ、私ハ却ッテ彼ノ國ノ人ハ是レ等ノ事ハ悦ンデ是レガ即チ日本ノ日本タル所以實ニ感心ノ至デアルト云フデアラウト思フ、夫レデ廉耻モ何モ知ラヌ國デアレバ敢テ知ラズ、此ノ如キ義俠心ノアル外國人ハ必ズ之ヲ以テカラニ尤至極ノ事ヂヤ、日本ノ強キモ即チ此ニ在ル、愈々以テ共ニ相談ヲナスベキ國、倚賴スベキ國ト云フコトヲ確ムルニ足ルト思フ、奚ゾ是レ等ノ事ヲ以テカラニ外交ニ差支ヘルヂヤノ心配スルヂヤノト云フ様ナコトハ誠ニ夫レハ氣ノ毒千萬ナ考ト私ハ思フ、サウ云フコトヲ心配シタラバ詰リ甚シイニ至レバ有名ナぢやんだるノタメニ紀念碑ヲ建テタラ英吉利ノタメニ大變感情ヲ惡ルウスルト云フ様ナ馬鹿ナ議論モ起ラニヤナラヌ様ナ理窟ニナル、夫レデドウカ成否ハ期セラレヌデアリマシケレドモ此議場ニ於カレマシテハ此事情ハ尤ト御聽取ニナツテ議決セラ

○侯爵中御門經明君 唯今此堺表殉難士ノ件ニ就イテ谷君ヨリ段々御演説ニナリマシテゴザイマス、谷君ノ御演説バカリ承リマスト如何ニモ御尤ナ次第ニ拜聽致シマス、併ナガラ當時本員等若輩デハゴザイマシタガ京師ニ居リマシテ此事ハ親シク承ツタコトモアリマスシ、少々意見書案ノ上ニ就キマシテ尙ホ篤ト取調ヲ致シテ十分ニ修正ヲ致シテ見タイト云フ考ガアリマスカラ、本日ノ會議ハ是レデ延期セラル、コトヲ希望致シマス、ドウカ其事柄ヲ詳シク述ベマスト宜シウゴザイマスガ唯今ノダケデ大抵御分リニナラウト考ヘマスデ、是レニ決シテ正反對ト云フ譯デハ決シテナイノデ、唯此意見書案ノ上ニ就イテ修正ヲ加ヘタイ、且ツ他ニ取調ベタイ理由モアリマスカラ本日ノ此會議ハ是レデ中止セラル、コトヲ希望致シマス、

○子爵小笠原壽長君 本員ハ中御門侯爵ニ贊成デゴザイマス、ドウモ此請願ハ文字ノ上ニ就イテ穩ナラヌ文字モ這入ッテ居ル様ニ考ヘマスカラ、御趣意ニハ本員モ贊成デゴザイマスガ、修正モ致シタイコトモアリ又取調ベタイ

コトモゴザイマスカラ、本日ハ決議ノ延期ヲ希望致シマスカラ中御門侯爵ニ全ク賛成ヲ致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 賛成ガゴザイマスニ依ッテ中御門侯爵ノ發議ノ決ヲ採リマス、即チ本日ハ議スルコトヲ見合ハセテ後ト回シニスルト云フ中御門侯爵ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 少數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 少數デゴザイマス、本意見書案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、次ニ復祿及復族ノ請願會議ヲ開キマス、是レモ朗讀ハ省キマス、

意見書案

復祿及復族ノ件

第一號 三重縣奄藝郡明村平民楠井多平外二十四名呈出

第二號 愛知縣名古屋市士族黒田文太夫外十五名呈出

第三號 同縣同市士族小島憲章外六名呈出

第四號 同縣同市士族水野鐵之助外四十四名呈出

第五號 同縣同市士族伊藤龜八外三名呈出

第六號 東京市赤坂區青山町士族小野三秋外十六名呈出

第七號 三重縣一志郡久居町平民前田半七外一名呈出

第八號 同縣阿拜郡上野町平民田中久太郎外十一名呈出

第九號 鳥取縣鳥取市平民山本幸男外十五名呈出

第十號 兵庫縣揖西郡平井村平民伊藤儀三郎外十三名呈出

右ノ請願ハ陳述スル所各々多少ノ差異アリト雖要スルニ第一號ハ世襲奉仕シタル者ニシテ士族ニ列シ家祿ヲ享クヘキニ廢藩置縣ノ際族祿共ニ之ヲ失ヘリ故ニ士族ニ編入シ其ノ祿ヲ復セラレムコトヲ請願シ、第二號ハ一戸創立世襲ノ列ニ加ハリシヲ以テ士族ニ編入シ永世祿ヲ給セラルヘキ者ナルニ明治三年故ナクシテ族祿ヲ沒收セララル十六年ニ至リ士籍ニ復セラレタルヲ以テ其ノ祿ヲ復セラレムコトヲ請願シ、第三號第四號第五號ハ共ニ世襲ノ卒ニシテ士族ニ編入永世祿ヲ給セラルヘキ者ナルニ明治五年民籍ニ降サレタリ後士族ニ復セラレタルヲ以テ之ニ伴フ所ノ永世祿ノ下賜ヲ請願シ、第六號ハ舊藩ニ於テ知事以下士卒祿高ニ分賦シ舊債消却ノ方法ヲ立テシカ明治五年ニ至リ免除ノ令アリ舊知事ハ其ノ定祿ニ復セルモ請願人等ハ遂ニ之ヲ復セラレス故ニ金祿公債證書下付ノ際自カラ定祿ヲ減却セラレタルヲ以

テ其ノ控除額ニ對スル公債證書ノ下付ヲ請願シ、第七號第八號第九號ハ世襲奉仕シタル者ニシテ士族ニ列シ家祿ヲ享クヘキニ廢藩置縣ノ際故ナクシテ其ノ族祿ヲ併セ失ヘリ故ニ士族ニ編入シ其ノ祿ヲ復セラレムコトヲ請願シ、第十號ハ世襲ノ卒ニシテ明治維新ノ際仁和寺宮殿下ニ供奉シ戰地ニ出張セシ者ナルニ明治三年歸農ヲ命セラレ士族ニ列シ家祿ヲ享クルヲ得ス故ニ其ノ族祿ヲ復舊セラレムコトヲ請願スルモノニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊十通及送付候也

明治二十八年三月 日

貴族院議長侯爵 蜂須賀茂韶

内閣總理大臣伯爵伊藤博文殿

○公爵徳川家達君 是レモ前ノ請願書ト同様ニ委員會ノ決議通りニナルコトヲ希望致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是レニハ別段御異議ハゴザイマセヌカ、

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 然ラバ本意見書案ハ可決致シマス、次ニ裁判所管轄變更ノ請願會議ヲ開キマス、

意見書案

裁判所管轄變更ノ件

福井縣丹生郡越前村平民磯見彌三右衛門外十二名呈出

右ノ請願ハ丹生郡下岬、越前、殿下ノ三村ハ武生區裁判所ノ管轄ニ屬スレトモ其ノ里程甚遠キノミナラス一定ノ道路ナク險惡隘陋ナル山道村路又ハ作場道ニ由リ屈曲迂回シテ纔ニ往來スルノ不便アリ殊ニ積雪ノ候ニ至レハ行路全ク絶ユルヲ常トス然ルニ福井ニ至ルニハ完全ナル車道アリテ交通便利ナルノミナラス從來該三箇村ノ人民ハ其ノ獲ル所ノ海陸物産ハ概ネ福井市ニ出シテ之ヲ鬻キ又需要品ハ總テ同市ニ仰キ金錢取引上其ノ他密切ノ關係アリ之ヲ武生町ニ比スレハ便否ノ差霄壤霄ナラサルヲ以テ該三箇村ヲ福井區裁判所ノ管轄ニ變更セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治二十八年三月 日

貴族院議長侯爵 蜂須賀茂韶

内閣總理大臣伯爵伊藤博文殿

○公爵徳川家達君 是レモ前ノ同様デ委員會ノ決議通りニ相成ルコトヲ希望致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是レ又別ニ御異議ハゴザイマセヌカ、

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 然ラバ意見書案通り可決致シマシタ、衆議院ヨリ通牒ヲ受領致シマシタニ依ッテ書記官長ヲシテ朗讀ヲ致サセマス、

(中根書記官長朗讀)

屯田兵土地給與規則中追加法律案

右貴族院ノ送付ニ關ル政府提出案本院ニ於テ貴院ノ修正ニ同意シ奏上セリ
因テ議院法第五十四條ニ依リ及通知候也

明治二十八年三月十八日

衆議院議長 楠 本 正 隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

官給ニ係ル屯田兵ノ建物及馬匹ノ讓渡質入書入ニ關スル法律案

右貴院ノ送付ニ關ル政府提出案本院ニ於テ可決シ奏上セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及通知候也

明治二十八年三月十八日

衆議院議長 楠 本 正 隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是レヨリ一ツ御相談ニ及ブ事ガゴザイマスガ、先ヅ御相談ノ前ニ御報告ヲ致シマスガ、明治二十二年法律第四號會計法中改正法律案、本案ハ衆議院提出デゴザイマス、衆議院ヨリ受領致シマシテゴザイマス、扱夫レデ最早會期モ餘日ガゴザイマセヌニ依ッテ是レハ成規ニ依リマスレバ二日ヲ隔テテ議事日程ニ載セルノデゴザイマスガ、夫レヲ短縮致シテ明日ノ議事日程ニ此第一讀會ヲ開クコトニ致シマシテハ如何デゴザイマス、

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼ブ者多シ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 然ラバ御異議ガナイト認メマスルニ依ッテ其事ニ致シマス、明日ノ議事日程ヲ御報告ニ及ビマス、午前十時開議、第一、明治二十三年法律第四號會計法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會、第二、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、第三、東京府埼玉縣千葉縣茨城縣境界變更法案、衆議院提出、第二讀會、本日ハ散會、

午後三時四十六分散會